京城日報

五月十五日夕刊 (朝刊併せて八頁)

◇獨反對案提出

獨逸委員は反對の提案を爲し獨逸の應じ得べき條件を提出せり(巴里電報)

◇南スラヴ境界決定

九日の外相會議にて南スラヴの境界を決定せり(巴里電報)

◇支那不調印觀測

支那講和委員は支那が三頭會議より日本が支那に膠州を還附すべき旨成文の保障を與へられざれば講和條約に調印せざるもの〻如し(巴里電報)

◇墺講和委員著期

墺太利講和委員は十四日巴里に著の豫定なり(巴里電報)

◇日貨排斥高調

親米派は運動業會等の示威運動は官憲の取締嚴重なるより轉じて日貨排斥を鼓吹し日本紙幣を用ふる勿れと勸說しつ〻あるが其の氣勢高調しつ〻あり(北京電報)

◇先づ滿洲問題を

運賃問題研究=近く朝鮮線視察

林關東廳長官野村滿鐵社長語る

林關東廳長官野村滿鐵社長中西同副社長片山、松本兩理事は十四日午後一時臺南丸にて大連著官民多數の出迎へを受け滿洲館にて休憩したるが林長官は出迎への記者に語りて曰く今回關東廳長官の任を帶びて滿洲に來れるは予の最も本懷とする所なり惟ふに我國

▲將來の問題は 如何にして滿蒙を開發し邦人及び支那人の幸福を增進す可きかと如何に東洋全般の平和を磐石の基礎の上に置き亞細亞人の文化と幸福とを齎す可きかにあり支那人の誤解は却々根柢深く今回勃發せる北京及東京に於ける學生騷動等も此點より見て甚だ憂ふ可き事なり而して滿洲問題は支那問題に先ちて諒解あり解決を爲すを要すと云々次に野村滿鐵社長は曰く予が前回大連に來れる時は大連埠頭の設備に就き計畫を爲したるが今再び來りて其

▲計畫の實現を 見又市街の發展の異常なるに驚けり滿鐵經營の新方針は今後の事に屬し極めて機密に屬し我等の深く與り知る所に非ず運賃改正は大連市民の最も反對する所と聞けるが今回の運賃引上は前幹部の計畫上下の與望に添はん事を努む可き右實施期は尙時日あるを以て充分研究すべく何れ近く機を見て副社長、兩新理事を伴ひ滿洲朝鮮兩線を視察し六月の總會迄に東上すべし(大連特電)

◇官制可決

朝鮮總督府

十四日午前十時より樞密院會議開會朝鮮總督府官制中改正の件を可決せり(東京特電)

◇奉天省議會開會

奉天省議會は五月初め開會の筈なりしも議員の來奉遲れし爲延期し漸く十二日より開會せり(奉天特電)

◇明石總督發期

東上中なりし明石臺灣總督は二十二日歸任の途に就くべし(東京特電)

◇立花軍司令官

立花關東軍司令官は十五日朝八時大連著同十一時五十分發赴任せり(大連特電)

◇陸軍大學生旅程

滿洲戰跡見學の陸軍大學生一行約八十名は十三日午後來奉十四日朝文官屯附近に向ひ即日歸奉十五日朝奉天發公主嶺方面に向ひ夫より長春哈爾賓を經由西伯利地方に赴き浦鹽に出で歸東の豫定なり(奉天特電)

◎地方廳官制改正と任命

朝鮮各道に於ける官署の事務は年々膨脹し人員手不足を訴へ殊に新稅令の施行せらるるあり稅務事務の擴張、土木事業の新施設等あり依つて今回地方廳官制を改正し書記を增員し土木技師を置く事となり既に夫々人選を爲しつ〻あるを以て勅令發布と共に任命發表を見るべし

◎米問題樂觀

鮮米百五十萬石

山本農相談

食糧問題殊に米價問題に就ては其後小康を得つ〻ある爲め稍安堵せるも最近期米正米共に多少の昂騰を見たる爲め市場に於ては又々外米輸入減或は內地米不足等の種々なる臆說を立て一般國民をして疑惑の念を抱かしめ居れるが本年度に於ける米穀

▲需給の大勢 を察するに所の如きは眞に杞憂に過ぎざるべし即ち國民生活の危險を叫ばしめたる昨年度に於ては內地產米五千四百五十六萬八千六十七石、鮮、外米の輸入總額四百六十四萬七千百六十八石にして輸出數量は二十六萬四千五百六十五石なる爲め差引內地の消費に充當せられたる數量は五千八百九十五萬六百七十石なり然るに本年度の狀況を見るに內地產米は五千四百六十九萬九千八十七石にして今日迄に輸入せられたる數量は外米三百四十四萬四千二百二十五石、臺灣米五十一萬八千七百三十石、朝鮮米百三十一萬二千五百七十九石なれば總計五千九百九十七萬四千六百二十一石にして此內輸出數量を

▲約二十萬石 と推定して尙五千九百六十七萬四千六百二十一石を算し昨年度の總消費充當數に比し今日既に七十二萬三千九百五十一石の超過を示せり然るに外部よりの輸入は端境期迄に相當の數量に上るべく之れが推定如何と云ふに外米に關しては市場にて唱ふる如く今五月頃の約三十萬石を以て打切りとするも朝鮮米の百五十萬石は確實にして臺灣米も島外移出を制限せりと雖も絕對的にあらずして目下島內に徐々外部より移入を圖りつ〻あれば之により生ずる本島產米の超剩數量は內地に移入せらるべく此額少くとも

▲尙五十萬石 を下らざるべければ最低限度輸入額を二百卅萬石と見て前記五千九百六十七萬四千六百二十一石に併せて本年度の消費に充當せらるべき總數量は結局約六千二百萬石と見るを得べし所くの如き數量は果して一年間に消費し盡し得るものなりや況んや本年は昨年に比し一般事業界は不振にありて喰ひ延べせられたる數量も決して尠からざれば以上の數字にして誤りなからんか食糧問題に關しては前途樂觀して可なるべく國民は須らく不安を一掃すべきなり然れども若し萬一不測の災害の爲め

▲國民の生活 を脅かすが如き事態を惹起するに至らば既に議會等にて屢々聲明したる如く最後の手段即ち政府は供給緩和に英斷を下すべく外米の輸入等の如きも政府の決心如何によりては決して困難にあらず世上今日以後は產地雨季に入るを以て不可能事の如く浮評するも昨年の如き政府が外米管理に着手して實際輸入を圖りたるは五月以後の事なれば彼此照し合せば更に不安を感ずるの要毫も之を認めざるなり(東京)

◎鮮米移出餘力

尙百餘萬石

二月末より三月に亘り外米輸入を極度に買ひ込みたる內地の期米は凄慘なる激落を來したるこそ其の後外米の入荷思はしからず入荷するも格關係にて

▲定期受渡米 に充當し得るもの少く一方米暴落の聲價勢以上に高かりし結果需要者の節米は頗りたる等の事情もあり旁々理に買ひ込まれたる期米は漸次搔頭し來り東京大阪の相場一時の底値に比し四五圓方を跳返し正米亦漸騰の模樣にあるが最近米價の硬調を呈すると共に內地よりの買ひ註文朝鮮にも盛んに入り込み來り一時安値に實遁りたる貯米筋の手放しもボツ〳〵出でつ〻ある模樣にて近來仁川群山釜山の如き內地行き船腹は移出米を以て

▲充足し居る 狀態にあり現狀は尙ほ持續せらる〻ものと見るを得べく或は挿秧時季節前の關係にて植附け前後には尙ほ一段高を演ぜずやとも目され居れるが今後尙ほ朝鮮米が幾許の移出餘力を有するやと云ふに某當業者の談を聞くに大正七年に於ける朝鮮米の移出二百十萬石にして輸出は十九萬八千四百石となり居り合計二百三十萬石なりき本年の鮮米は產額に於て前年より百餘萬石多く從つて輸移出餘力も二百七八十萬石見當に達すべしとの豫測は當らずと雖も遠からざるべし而して本年四月までの輸移出は約百五十萬石弱に付尙ほ

▲一百卅萬石 內外の餘力ありと見るを至當とせん唯餘力はありとするも鮮米三十圓臺位にては高値疊みの農家の賣り惜しみありて更らに價格軟弱にては內地註文も入り込み來らず從つて鮮內米商の南米地買附けも振はずと云ふ譯にて自然一般の消費も增進すべく果して前記推定額の移出を見るや否やは疑問なりとするも尙ほ開港地並に鐵道沿線に出廻り居らざる正米數量の少からざるは事實なるが如し

◎植林獎勵事業

道下附苗木數

植林獎勵の爲大正七年春各道に於て下附せし苗木總數は地方費支辨に係るもの二千百八十萬本

▲恩賜金支辨 に係るもの五十二萬本其の總數二千二百三十萬本なり右の中一件一千本以上を交付せし數は地方費支辨に於て一千二百五十二萬本即ち總數の五割七分強恩賜金支辨に於て六萬本即ち總數の一割一分に當り合計一千二百五十八萬本にして下付總數の五割六分に相當せり樹苗は專ら面、學校及び確實なる植林經營者等に取纏めて下付する方針なるも尙

▲一千本未滿 のもの多きを遺憾とす大正七年春下附せるもの、同年十月末に於ける調査に依れば活着步合平均は地方費支辨のもの八割三分恩賜金支辨のもの八割一分にして相當の生育を爲したり之を樹苗別に擧ぐれば黑松の八割七分最も良好にして白楊類の八割六分ニセアカシヤ、赤松其の他の各八割四分栗の各八割三分樹の七割六分順次相次ぎ更に

▲道別に比較 すれば慶南の九割最も良好にして慶北の八割六分忠南南北、平北の各八割五分京畿全南の各八割四分平南咸北の各八割江原の七割九分黃海の七割七分咸南の七割二分順次相次げり總平均活著步合八割二分を大正五年の八割五分に比すれば大差なく大正六年の七割三分に比すれば著しく良好の成績を示せり

◎郵便發著數

大正七年四月より本年三月に至る一年間の朝鮮全道の通常郵便物數は引受數一億一千零五十八萬八千通にして前年に比し一割五分一厘を增加し又配達數は一億一千七百八十五萬一千通となり前年に比し一割三分二厘の增加となり居れり

▲鮮人と郵便 又同期間に於ける朝鮮人の通常郵便物引受數二千五百七十五萬四千五百通にして前年に比し二割一分七厘の增を示し配達數は三千三百三十一萬四千三百通にして前年に比し二割二分の增加なり

◎朝紡工場

京城の候補地

大村商議書記長談

朝鮮各地に於て設爾を重ねつ〻ある朝鮮紡織會社工場敷地問題は、今々齋藤常務の歸社と同時に協議の上決定を見るべきが候補地として

▲京城の有利 なる點に就き大村京城商議所書記長は談る一時騷亂業中候補地の聲高かりしも實際會社側が朝鮮一の候補地として希望しつ〻あるは龍山二村洞(入道橋と鐵橋基點の中間)にして唯同地の所有者の賣値中相當の懸隔あり此の點にて行惱める狀況なる如し從つて予等の意見としては會社に對して運動するよりも寧ろ土地所有者を勸說するの方が道なるを思ふ次第なるが予も三井の高氏をして所有者に對して勸說する所ありしも未だ何等現はれざるは遺憾なり依つて會議所としては會社に對し未だ具體的の運動をしてはなし居らず又なすを要せざる譯なるが同地が紡織工場として至極好適なるの點を擧ぐれば(一)京城と云ふ一般行政諸機關の發布地に近接し業務上

▲萬般の交涉 に至便なること(二)工業用水としては工場敷地の側を流る〻漢江あるを以て供給に於ては潤澤なり(三)京城電氣會社の電力を直ちに移すを得るを以て彼の平壤が動力の不足を感じ居らざるモンド瓦斯式電力の供給を云爲するよりも少くとも自城に容易なる所あり其他販路の有利勞力の豐富交通運輸の點より見るも朝鮮の中央たる京城に近接せる二村洞の利便なるは言を俟たざる所也從つて某候補地のみが獨り用水動力運輸勞力等に於て卓越せる特長を有し到底他の追隨を許さずと斷ずるとも我に首肯し難く更に角にも論より實證とも云ふべき二村洞を擧む事實が第一に同地が工場に於て他候補地に優る點ありと見ざるを得ざるなり只會社が各地に分工場を分布するか又一箇所に

▲集中的大工場 制度を執るや何れなるか確聞せざるも二村洞に工場を設くとせば或は集中的の大工場を建設せらる〻にあらずやと推測せらる

◎不二興業の社債發行

五十萬圓=殖銀引受=全北の開墾資金

不二興業株式會社にては全羅北道沃溝郡の下潟地二千餘町步の開墾竝に同墾と同時に附近水田を一部に水利の施設を加ふべき資金に充當するため社債五十萬圓を發行する事となり殖產銀行との間に交涉中なりしが五月一日附にて協調成立同日殖銀引受けの下に發行金の授受をなしたり條件左の如し

一千圓券五百枚、利率年七分三厘、發行の日より大正十年十二月二十五日まで据置き爾後二十年間に毎年一回抽籤にて二萬五千圓以上を償還する事

尙ほ不二興業にては必要土地の收買略終了して事業には既に着手し

◎殖銀拂込說

差迫れる問題に非ず

朝鮮殖產銀行にて第二回拂込みを行ふべしとの說明市場にあり同行株は一兩日來四十三圓を唱へ目下に至り突飛高を示せしが同行當局に就いて聞く所によれば目下の所資金は必要に應じ之れを內地方面より吸收し得る便あり必ずしも拂込の必要なし唯行內の一部には拂込みを徵すべしとの意見もなきに非ざるに付き何れ決行する事も圖り難けれど要するに差迫りたる問題に非ずと

◎鐵道局長後任

人見鐵道局長は東拓理事に內定せる爲め既に辭表提出中にて其後任は目下詮衡中なるが我社の知り得る限りにては靑木農務課長其後を襲ひ高等官二等に昇敍さるべく生田氏は靑木氏を襲ひて農務課長に轉じ又本間事務官の商工課長に昇任するは最早動かざる者の如し

◎金融聯合會總會

京畿道金融組合聯合會第一回總會は來る三十一日午後二時より京畿廳會議室に於て開催さるべく其の決議事項左の如し

▲第一期決算報告並に監事意見書承認の件▲給與規程一部變更の件▲金融組合新規加入承諾の件

◎爲替貯金課長

新設遞信局爲替貯金課長は爲替貯金管理所長須藤逵氏之を兼ぬる事となりたり

◎驛長異動

十五日附朝鮮鐵道の驛長に左の如く異動ありたり

依願免 密陽驛長 阿部喜久造
密陽驛長 河崎政一
群山驛長 江副藤平
江景驛長 古川敬吉
東萊驛長 車館 間瀨
新興里驛長 新里 白松
豆孫驛長 孟中 藤原俊雄
新 宗阿 山崎

◎田中山林課長發期

田中山林課長は總督府當面の一問題たる關稅調査の爲め米國及び加奈陀へ出張を命ぜられ乘船の都合照會中のところ來る八月二日橫濱出發の便船よりなしこの事にて多分同便に依る事として各般の準備を爲すべしとなり

◎英領事午餐會

英國總領事代理ロイド氏は過般副領事より領事に昇任し淡水在勤を命ぜられしが總領事アーサー・ハイド・レー氏賜暇歸國中につき赴任は八月以後なるべしと尙同氏夫妻は十五日午後一時同總領事館に於て午餐會を催し久水外事課長同夫人始め領事團知友十餘名を招待せり

人事消息

▲松本正寬氏(辯護士) 新義州にて十四日夜發神戶へ

▲菊地慎行氏(總督府技師) 十五日朝二十一日間の豫定を以て東京及千葉へ出張を命ぜらる

▲大池忠助、迫間房太郎、香椎源太郎氏等(釜山實業家) 十五日朝京城[illegible]一行 同上

▲朝倉[illegible]氏(辯護士) 新義州にて大邱へ出張中の處十四日夜歸城

▲大內暢三氏(國民黨代議士) 近く來鮮の旨京城所に來電ありたり

▲山田孝雄氏(國文學者) 十四日夜入城

▲吉田小三郎氏(東拓庶務課長) 徵兵に付十四日來引揚

八面鋒

米國の新聞紙が、山東問題の解決に對して、不滿足を云々し居れるは、外電の傳ふる處の如し。但し此處に云ふ新聞紙とは、必ずしも上等の新聞と云ふ意味に非ず、所謂『黃色紙』なりと知られたし。然れども一言に黃色紙なりとするも米國內に於て、其の威大なる勢力を有するは勿論也。

◆米國新聞紙の云ふ處は、彼の支那の輿論が、我公正なる態度の宣言をも、殊更耳に入れざるが如く日支間の協約を無視し、破棄し、蹂躪せんとするを目的とせる、恰も獨逸が行ひし、國際間の秩序と禮儀を無視攪亂するを以て、正義と心得たる、文明世界に通用せざる、滅茶苦茶の議論とは、其の趣を異にせり。

◆然らば米紙の憤慨が、果して支那に對する眞實なる親切より出でたるか、否か、洵に本問題の主眼たらざるを得ず。彼等が大統領は卑屈にも支那を日本に引渡せりとか、是れ米國の日本に對する降伏なりとか憤慨する處は之れを其の裏面より云へば、支那を日本に收られたりと云ふ意味を現はせるものに非ずして何ぞや。更に切言すれば、若し日本と支那が接近し、四億の人間が覺醒し、訓練せられたらんか、其結果如何と云ふ心配に外ならざる也即ち當ての外れたりと思ふが故也。

◆果して然りとせば、米紙の識り出て、人道より論じたるものと云ふを得ざる也。支那國民にして此の心事を推せば、寧ろ米紙に向つて、其の餘り馬鹿にせられたるを、憤慨せざるべからざる也。

◆支那側より出たる、情報に曰く頃日支那內地に、米人の經營より成る奇怪なる倶樂部、各所に出現し、酒、賭はもとより、奇妙なる婦女子迄も出入し、盛んに支那靑年の歡迎を受けつ〻ありと。支那四億人の覺醒を忌嫌する米紙の論調と、此の奇怪なる倶樂部の現出は、其の間何等かの消息相通ずるに非ずやと見れば、窃に理想と實行の、巧なる一致なりとせざるを得ざる也。而して之が、支那に於ける一部の言動と相對して、面白き現象を呈するに非ずや。

◆支那一部の政治家中、或方面の甘言に耽溺し、何ぞ彼も日本をさへ忌嫌し、惡ざまに虐めつければ、以て滿足なりと思ふ、無我夢中の先生方は、既に其の足下に白蟻の食ひ込みしを知らず、悔ども亦及ばざるべし。

商業及法人登記公告

京城織紐株式會社取締役金東徹及監查役尹致昭、金溶泰ハ大正八年四月拾九日辭任同日京城府[illegible]洞百參拾七番地[illegible]取締役ニ[illegible]京城府[illegible]洞貳百參番地金秉[illegible]及京城府[illegible]洞貳百拾九番地朴勝稷監查役ニ當選就任セリ 右大正八年五月參日登記

東亞煙草合資會社ハ大正八年五月日本店ヲ京城府南大門通四丁目五拾番地ニ移轉ス社員板滑菊松ハ同日其ノ住所ヲ京城府明治町壹丁目七番地ニ移轉シタリ

朝鮮煙草株式會社監查役金永杰ハ大正八年四月貳拾八日其ノ住所ヲ京城府淸松洞百拾番地ニ移轉シタリ

商號永仁昌、營業ノ種類物品販賣、營業所京城府南大門通壹丁目百番地、商號使用者ノ住所氏名京城府公平洞六拾五番地ノ武裕永錫

株式會社朝鮮商業銀行ハ大正八年五月五日京畿道仁川府本町四丁目七番地ニ支店ヲ設置セリ 右大正八年五月五日登記

本店京城府大和町參丁目拾六番地 商號朝鮮製薬株式會社 目的[illegible] [illegible]

[illegible]

不二興業株式會社ハ大正八年五月九日社債ノ登記 社債ノ總額金五拾萬圓 各社債ノ金額金千圓 社債ノ利率年七分參厘 [illegible] 償還ノ方法及期限 大正拾年拾貳月貳拾五日以後 [illegible] 右大正八年五月九日登記

[illegible]

合名會社[illegible] [illegible] 右大正八年五月六日登記

京城地方法院

右大正八年五月拾日登記

法人登記公告

[illegible]

金良場出張所

法人登記公告

[illegible]

利川出張所

馬排下廣告

軍馬約百頭ヲ來ル[illegible]月[illegible]日午前十時迄印鑑持參[illegible] 排下ス[illegible]

軍馬檢疫所

龍山驛前

資本金參百萬圓 (明治三十八年設立)

當銀行ハ預金、貸金、爲替等一般銀行業務ヲ確實親切ニ取扱申候

京城南大門通一丁目十四番地 株式會社 漢城銀行

長 男爵 李允用
專務取締役 韓相龍
支配人 石鎭衡

電話長六〇一、六〇二番 振替口座京城二〇五番

▲支店所在地 水原、平壤、大田、開城、南大門、釜山、東京
▲出張所所在地 鐵原、東萊

自動車 學生募集 日本自動車學校

速成科 二ケ月卒業

自動車運轉手技術者養成新學期六月一日 卒業生本校紹介就職 詳細は東京羽田穴守日本自動車學校へ規則申込め

自動車講義錄 飛行機講義錄

日本自動車學校

株式會社 中村組平壤支店 金物鑛油石炭煉炭材木材セメント土管耐火赤煉瓦各種長水院無煙炭 平壤本町 電話長五〇一番

株式會社 中村組鐵工所 水道鐵管竝に水道用器具、諸機械製作並に修理鐵骨架橋工事一式 平壤柳町 電話長六〇三

株式會社 中村組煉瓦製造所 耐火煉瓦、赤煉瓦、土管各種 シヤモット 平壤橋口町 電話長一二五

大日本優等清酒 ハクツル 白鶴 品質純良 衞生無害

釀造元 攝津灘御影町 嘉納合名會社
發賣元 京城本町二丁目廿番地 前田酒店 電話一三七番 振替口座四二五番

◎トタン平板 ◎象印ショベル 新荷著

和洋金物商 京城本町三丁目 佐藤半次郎商店 電話長貳四三番 振替口座京城一二〇番

趣味ある 漢陽高麗燒 朝鮮物產各種

天日草高麗燒製造元 京城本町 海市商會 電話一五〇番 振替京城四八番
支店 京城、大邱、東京 京橋區日本橋通

名古屋發明會社販賣 蠅取器

□柳製トランク專賣 □雨合羽防水布ゴム引マント □乳母車各種 □寵法瓶及中瓶取替

京城本町 高木旅行用具店 電話貳五四番

巴里談語

氣の早い米兵
盛んに獨逸婦人と結婚　自動車で人間の持逃げ

本社特約員　上田碩三

佛白獨の國境北は北海沿岸より南はアルサスに至る間、英米及び佛軍は各コロン、コブレンツ及びストラブスルグを中心として獨逸の國土に侵入して軍政を布いて居るが、此頃英米殊に米國の兵士で之等軍政下の獨領に駐屯して居る者が追々獨逸婦人に馴染んで之と結婚したがる者が多くて軍事當局も困つて居ると云ふ話が頻りに傳つて居る。戰爭して居る間こそ敵愾心も起るが休戰となり親しく

朝晩顔を 見合はして言葉の一つ二つも解つて見れば元々人間同志のこと、何時までも睨み合つてばかり居るものでもあるまい。殊にウイルソン氏の人道主義から言つたら何人關係に於て情意投合は當に其の所、今更之等兵士が獨逸人のレストランドに入るのをじた所で始まるまいし、加ふるに卿るれば飽きるは世の常で

佛國婦人 の愛嬌も今や漸く英米の兵士に飽かれた爲かそれとも獨逸婦人のムッツリとした所に氣が移つたのか、何にしても講和締結が一日伸びれば、それだけ種々の方面に聯合國の不利となる講和を急ぐは素より一日も早く故國に歸りたいためではない米國の兵士と云へば其の氣の早いとは正に天下一品戰時中爆彈がさる巴里の近郊に落ちて數百名の

負傷者が 出來た時親戚や見物人は只泣いたり騷いだりしてうろ迷ふて殆ど手の施しやうを知らなかつたさうだが米國兵士は爆彈落下の音を聞くやスワこそとばかり由々飛んで音のした方へ駈けつけ瞬く間に數百名の負傷者を一人殘らず自動車に昇ぎ込んで悉く赤十字病院へ收容したさうで、道に米人の機敏には佛國人は固より聯合諸國人の賞讃止まなかつたと云ふ。話は之れと似て稍趣を異にして居るがツヒ二三日前の晩のこと、

雜沓最中 オペラの附近で佛人のお爺さんがタキシーに轢かれやうとして町の眞中に卒倒した。忽ち物見高い巴里ッ子が黑山の樣に押し懸けて見て居たが通りかゝつた米國兵士の自動車は群衆を押し分け、何にも言はずにドン〳〵自動車に昇ぎ込んで持つて行つて仕舞つた。それとも知らぬ群衆は其後長い間譯も解らずいたかつて居たが一人の婦人が聲を立てゝ泣き乍ら言ふ上を聞くと、親爺は轢かれたのではなく**只轉んだ** ばかり、それ

◎內地電報

大延著
佐賀線不通の爲　兩三日中に復舊

內鮮間の電報は京城下關線が佐世保大連線不通の代用に供し居れる爲も電報增加のため著しく遲延し居れり現に下關京城間の如き下關午後四時發のもの翌日午前八時乃至十一時頃到著し東京大阪の如きも著しく遲延なるが遞信省にては佐連線修理のため作業船を派したりと此事に付大阪と潮流にして順調ならば三四日中に恢復すべき豫定の由に付近く幾分緩和さるべし

◎電報を郵送
內地滿洲間に　四五日を要す

滿洲內地間の電報は佐世保大連間の海底電線故障の爲近來非常に延滯し甚だしきは四五日を要し大連奉天間のみにても六時間以上を要する有樣なるより大連局の繁忙は想像以上にて尚堆積せる電報多數なるより十四日より右電報中東京奉天間は郵送とする事となれるが復舊期は目下未定なるも多分兩三日を要すべしと(奉天特電)

端午祭の遊戲　(南山幼稚園にて)

◎行列美々しく　曳く梵鐘
銘は總督の撰　十七日開教院へ

本町の淨土宗開教院では十七日から開教二十年記念大法要を執行する筈であるが此日は梵鐘曳初めがある是れは本町一丁目高木德彌氏妻女さだ子の寄進に成る梵鐘を高木家から開教院に曳込むので內鮮信徒婦人會員數百名の外

◇**稚兒五十** 名鑑代世話人僧侶を加へ行列美々しく黃金町通から本町通から本町三丁目を經て大和町に繰込むのであるが當日は龍山から同宗觀世音講も參加すると云ふから非常な賑ひであらう翌十八日は午後二時より同院內で梵鐘撞初式を擧行し十九日は午後二時より大施餓鬼會を施行する事になつて居るが十八日は日曜日なので特に博多仁輪加、琵琶など

◇**寄附餘興** がある相である。猶新鑄の梵鐘は大正七年一月同宗婦人會新年會の席上、監督より開教二十年記念事業として梵鐘鑄造の計畫を表した一婦人會幹事に當る高木さだ子が兩親の菩提を弔ひ冥福を祈る爲梵鐘を寄進し度いと申出七月中に京都へ註文し鑄造中に出來上つたものである現在は高木家の

◇**倉庫に收** められてゐるが直徑二尺六寸高さは龍頭迄四尺八寸五分重量は百六十三貫あり鐘の南方正面上には今上天皇聖壽無疆、下には長谷川總督の鐘銘あり北方正面には法輪常轉萬民豐樂と頭趣意及び施主略歷がある此の梵鐘が

◇**女の細腕** 一つで寄進されたと云ふのは面白い。鐘銘に曰く

朝鮮總督元帥陸軍大將正二位勳一等功一級伯爵長谷川好道撰
我國淨土宗者勅諡圓光大師創之法流瀰漫流入朝鮮隆盛度衆二十週年于茲矣開教綱監紫磬上人發願新鑄梵鐘鑄成徵銘于余乃銘之曰
日東聖主　遍布漢城　三心內照　四修外明
偉哉佛果　猗矣道情　乃鑄法器　式祭衆生
南山煙碧　北岳霜清　殷々晨夕　永傳厥聲
大正七年歲次戊午十一月上澣

清溪川の改修
愈々本舞臺に入つた　京元線鐵橋附近から　漸次上流に及ぼす筈

京城府多年の懸案であつた下水問題も昨年春から漸次に解決されることゝなつた事は屢報の通りであるが、京城府土木係りの下水主任の談によると府は大正七年度に於て清溪川の下流觀水橋から下の方東大門附近に至る迄の浚渫工事として現在の川床から約一尺六七寸を掘り下げた是れが年々

▽**雨期に入** ると淸溪川沿岸が氾濫して洪水を來し住民の困難一方でないので差し當り其の災厄を避らけ樣と言ふのに外ならぬ甚し淸溪川の氾濫は例年雨岸約二尺內外であるから川床を掘り下げれば幾分其氾濫量は緩和せらるゝ譯である其他龍山旭川の下流を掘鑿して

▽**漢江に通** じ附近一帶の氾濫を防遏し尙は南山町森勝宅附近の下水を改修して其の厄を緩和することゝし更に淸溪川流域の土地を買收し淸溪川改修の本工事著手に便にしたのである先づ七年度に於ては其の工事著手期が幾分遲れた爲め大體以上の樣な事業に止まり

▽**別に日に** 見られた工事も出來て居ないが本年度に入つて愈々淸溪川改修工事の本舞臺に移り淸溪川下流の京元線鐵道橋附近から漸次上流に向つて改修を加ふることゝなつてゐるのは既に其の工事に著手したが上記鐵道橋附近は目下其の川幅約十五間ばかりなものを六十間程度に擴張し其の兩岸に高さ

▽**約十尺の** 堤防を築造する計畫になりてゐる堤防は必要なる部分は石垣としてあるが然うでない箇所は矢張盛土であり雨期に於ける水の高さは約七八尺の所に達する見込だ相である。斯うした工事を本年度は淸溪川の上流に遡つて延長約一千二百一間改修をすることになつてゐる其他府內に於ける淸溪川の各

▽**支流工事** 五百六十五間及び龍山旭川の下水改修五百十五間を以て府下下水工事の八年度事業としてゐる此の工事費が一十二萬七千圓で他に事務費を加算すれば二十四萬九千圓の經費となるのであるが雨期の氾濫を防ぐことを言ふ迄には尙

▽**多くの日子** を要するので淸溪川の工事の如きでも茲暫くは市民に其の恩惠を與へると言ふ程度に迄は至らないのである大正十年度に及んで始めて若草町の觀水橋附近迄改修工事の手が屆く豫定で此處迄來なければ改修工事の

◎乘馬大會の呼物
騎兵一個小隊の高等馬術と會員の競技

朝鮮憲兵隊司令部の後援京城乘馬俱樂部主催にて來る十八日午前九時より大和町憲兵隊司令部の大馬場にて春季乘馬大會を開催することは既報の如くなるが當日は各官衙及び會社銀行員新聞記者諸氏約三百餘名の來賓あるべく長谷川總督山縣政務總監の臨場を乞ふ豫定なりと、當日は場內に天幕を張りて來賓の座席に充て餅菓子、ビール、其他を供して來賓を待つべく天候病ひなく家庭同伴縱覽されたしと、尙當日のプログラム左の如くなるが中の呼物は騎兵一分隊の高等馬術と會員の競技なりと
▲調馬索運動▲常步馬上體操、速步各個運動(少年組)▲速步、斷步各個運動▲二障碍運動、四騎運動▲騎兵高等馬術一ケ小隊出演▲來賓競技▲餘興(金比羅道中遠乘競走其他)

◎幼稚園の端午祭
樂しく遊んだ上　お土産を澤山

延び〳〵になつて居た南山庚子幼稚園の端午祭は昨十五日午前十時から雨天體操場で開かれました正面には厳めしい武者人形や鯉幟りの飾つてあるお母さんや姉さん達を迎へて、踏んだ勇しい姿で並んだ澤山の園兒と同園卒業された百餘名のお客さんを迎へて小さいお客さん三四十名は『今日は樂しい端午の祭り!』と口々に唱へながら定刻前から嬉々と詰め掛け愈々時刻が來ると爽かな奏樂に合せて君ヶ代を唱つたそれが終ると園兒は赤と白の旗を兩手に持つて『大きな口に風を呑み、空をば泳ぐ鯉のぼり……』と唄ひながら遊戲を試みた上先生達のお給仕で赤飯を御馳走になり『君子よかれ』の唱歌を唄つた上柏餅や饅頭のお土産をどつさり戴いて嬉しさうに家路に就いた

◆大錦を破つた三杉磯

◎趙重應子重態
氣管と腸の慢性的疾患　毎日カンフル注射を行ふ

中樞院顧問子爵趙重應氏は數日來宿痾再發し自邸に引籠り專ら療養中なるが兩三日來容態不良にて病勢增進し昨今は毎日カンフル注射を行ひ醫師看護婦等詰切り居れり

總督見舞ふ　病狀を聽取す

十四日午後七時家從一名を從へ徒步にて永樂町なる同子邸を訪問したるが醫士の注意にて面會を謝絕し居るより家人に對して病狀を聽取し懇切に見舞の挨拶を爲し同八時歸邸されたり

見舞客頻々

十五日早朝李完用伯爵國分次官兒玉秘書官長山縣政務總長兒玉總務局長其他內鮮官民知名の見舞客頻繁なり

主治醫具に病狀を語る
體温三十九度三　食欲全くなし

子爵の病狀につき主治醫宮地高收氏は語つて曰く　趙子爵は生來病弱の質で最近は絕えず藥餌に親まれて居た私は本年二月頃から診察に從事して居る

▽**屢々下痢** を催したりして其の容態は徐々不良になつて來た處が國葬前後から鮮人の騷擾事件が勃發して毎日騷擾が續いたので子爵は朝鮮千五百萬の民族の爲めに內鮮同化の大道を徹底的に說示せんとして絕えず病床で劃策された、そして日々の騷擾に對して非常に心痛せられ訪問客があれば談必ず內鮮同化の大道に及ぶと云ふ位であつたが、子爵の深憂も

▽**更に甲斐** なく騷擾は益々擴大して行くので子爵の心痛は一層甚しく病勢も亦從つて度を加へ病勢は一層昂進するばかりであつた家族醫員も之を心配して只管療養に努め日夜快癒を祈つて居た處が時恰も陽氣の變り目で氣候が不順な爲此二三日來俄に重態に陷られたので特に

▽**佐藤博士** の診察を乞ふた十四日夕の症狀は體温三十九度三分、脈搏百二十、惡寒を感じるので時々震へて居られた食欲は殆んど無く僅かに牛乳一合を攝取されたに止まる此時期を過ぎれば全癒の見込みもあるので家族方も枕頭に詰切つて熱心に看護中である

◎章公使經過
益々良好

章公使其後の經過良好にして頭部に多少の化膿あるも差したる事なかるべしと(北京電報)

◎釜山の天然痘
二百四十名

釜山府內の天然痘患者は十三日迄に總數二百四十名に達したるが內死亡者は五十四名なり(釜山)

◎漁村に天然痘

慶南統營郡蛇梁面漁村に天然痘發生し水産組合漢醫師は同地に急行せり現在患者七名內一名は死亡し尙同村全般に傳染せる見込なるを以て移住者全部に亘り種痘を施行せりと(釜山)

◎大田の騷擾者

大田法院支廳檢事局にて檢舉したる不逞鮮人は十七件百七十八名なるが中地方法院に移送したるものは三件四十五人にして不起訴處分となしたるものは一件四人なり其他の十三件五十八人は保安法違反として同廳に於て處理處分したるが內公判を求めたるものは三十七人不起訴となしたるもの二十一人なるが公判の結果重き刑の言渡しを受けたる

大相撲
三日目取口

▲逆の矢に檜錦　激しく突き合ひ揉み合ひ▲大關に阿蘇嶽　阿蘇直ちに双差一氣に押し切つて勝▲逆鉾に黑瀨川　逆鉾鋭く切つて勝し黑好く堪へ左四つとなるや左足にて內掛を試み極つて黑の勝▲岩木山に大の高　突合ひ岩木敵の右を手繰りつゝ逃ぐれば大其手を預けて押切り軍扇は大に揚りしも岩の手繰りし時大の體早く落ちしこと物言付き丸預▲綾川に矢宮山　綾右筈にて押し土俵際にて双筈に押倒して綾の勝▲駒泉に大潮　駒の聲にて立ち潮の突き返す鼻を駒右に潮の首を卷く潮付け入り双筈に押し土俵際にて渡し込んで勝▲釋迦ケ嶽に大戶平　一合して大敵の右を卷き込み小手投げ打つや釋迦巧みに其手を預け蕪れ掛り寄切つて釋迦の勝▲入門岩に大鳴門　突合ひ大門敵の突つ張りを潛り左を差し寄倒して入門の勝▲源氏山に琴ケ浦　突合ひ源二本差すや琴左に敵の差手を卷き源二度下手投げを打ち琴之を防ぐや源左右より捻りを試む琴殘して水となり後源尙捻り下手投げ打ち寄倒して源の勝は面白き相撲にて琴も好く取れり▲友の浦に若湊　激しく突き合ひ右四つ湊下手投げを連發し終に極つて湊の勝▲對馬洋に淸瀨川　本日の好取組一合して對馬敵の左を呼び込み小手投げ打ち淸捩ひ投げに打ち返し殘るを突出して淸の勝は大喝采、▲大錦に三杉磯　三杉左を差し右に敵の左を攻め鋭く寄り立て錦土俵際にて廻り込まんとするや三杉早くも捩ひ投げ大きく打つて終に大錦を倒す滿場騷然として暫しは鳴まざりき(中入)▲一湊に小松山　一合して右四つとなり高々と吊り出して小松山の勝▲八甲山に白岩　八、白の右を差して捻り白其手を預けて寄り八土俵際にて投げを打ちしも極らず白反對に背負投げ打つて白の勝▲宮城山に敷島　右四つ宮寄立て外掛蕪れ込んで勝▲大の里に小牛田山　押合ふ中引き落して大の勝▲宇都宮に藤の川　右四つより左四つとなり宇都下手捻り見せて下手投げ一度打つて終に勝つ▲御西に千葉崎　御西右を差し左に敵の右を攻めつゝ寄り千葉上手投げ打つや御西捩ひ投げ打ち返して勝▲常の花に朝汐　左四つ常直ちに左內掛蕪れにて勝▲栃木山に紅葉川　突合ひ紅葉一寸手繰りし時倒ありしが如かりしも栃木付け入つて鋭く突放して栃木の勝七時十分打出し(東京特電十四日延着)

運動界
戰後に(上)　YK生

京城鐵道、漢陽鐵道の兩團戰共捨鉢丸のクロスゲームで、近來にないエキサイチングゲームであつた、それ丈けファンを喜ばせた事も多大であつた、池の利と練習の便を有する鐵道軍は仕合に於て常に有利で、且つ仕合慣れして居る點に於て四チーム中第一であるから、リーグ戰の當初から鐵道が優勝するだらうと想像して居た、練習の場所も持たぬ他チームが鐵道軍をあれ程迄に迫擊したのは不幸敗戰したとは云へ全く偉とするに足ると思ふ、京城、漢陽兩軍共あれ程迄に鐵道軍を追ひつめながら土俵際でうつちやられたのは遺憾千萬だ、漢陽は戰に於て鐵道の七に對する八と云ふ好打をしながら漢陽軍が敗けたのはどうしたものだらう、よく打ちながら得點の數の少ないのは如何なる原因によるか研究の價値があらう、漢陽軍はあの石本の痛肩を以て鐵道軍に十七の盜壘を許したのはどうした事だらう、相手が盜壘の上手な鐵道軍だとは云へ、捕手にモーションを盜まれるさへ見ひたいと思ふ、弱肩の鐵道軍捕手嵜木の方が敗者がよかつたのに鑑みて一層努力して欲しい、兩軍共よく打つたが漢陽は最後迄迫されて居た、七回目に石本の打つて右翼フライを荻野が見逃して偽め、あの樣な接戰になつたけれども全くあのフライはイージーボールであの球を取らない荻野はよつぽどかゝつて居た、投手福島が泣いたのも無理はない。

◎レート視察團退城　入城中なりしレート化粧品視察團一行二十七名は十五日朝南大門發急行列車にて釜山に向かへり

淨瑠璃

▲顯太夫は師々研究心の深い男で淨瑠璃界に於ける名人の型や逸話を大分調べてゐるらしいが中でも現代の越路太夫は近代に稀な名人だと云つてゐる▲顯太夫が東京に居た頃越路の合邦を聽いて床へ上るのが厭になつた事がある、同じ人間で何うして越路の眞似が出來ぬのかと思ふと語る氣にならなかつたとの事▲顯太夫曰く素人の耳には名人の語るのが却て下手に聽ゆる、私も若い時死んだ攝津大掾の淨瑠璃を聞いて失望した事が有つた、然るに數年の後自分の理解力が進んでから聽いて驚いた、大掾の一言一句は悉く平凡なものではなかつた▲近來大阪でも語り口が大分變つて來た、攝太夫などに分けて此傾向が明かに見ゆる是れから淨瑠璃の型や節廻しが何んな風に變つて行くか、これは素より想像の及ばぬ所であるが變ると云ふ事は進步を意味してゐるもの口疑ふ餘地が無い。

不都合な店員

大邱府八雲町平野林木店東門町支店々員中島某は飲食店の女中を受出して我の妻とし東四軒町二丁目に一戶を構へ自宅より通勤なし居りしが十三日主人より得意先の集金を命ぜられ出懸けたる儘十四日朝に至るも歸店せざるより不審を起し他の店員を中島方に遣はしたるに空家となり居るを以て大に驚き此旨主人に告げたるより大騷ぎとなり八方搜索したるも行方更に判明せず得意先にては何れも支拂を濟まし居りしたりと云へば多分其集金を橫領逃走せしものならんとて斯く其筋へ訴へ出づ(大邱)

旅順市民安堵
◇移轉說は取消迄す◇

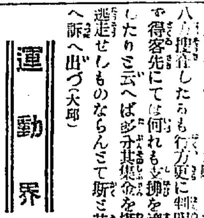
[illegible]動の準備する等[illegible]を鎮まらすこ[illegible]然だしかりしが此程軍務總長杉山四五郎氏證言せしより[illegible]

◎慶北の山火事
四千七百町步燒失

[illegible]不明二にして放火犯人は逮捕の上[illegible]

部と松八人見舞來友、薗崎定、長谷川政子[illegible]

愈々明十六日限りに付
▲是非一度は御覽下さい▼
初日以來連日連夜滿員御禮　尾上松之助、中村扇太郎合同一座
日本一　隨一　隨院長兵衞　五千尺
大正館
入場料　壹等三十錢　二等貳十錢　三等十錢　大割引

りん病は藥では治りにくい

男女兼用
名譽大金牌　專賣特許　痳病こしけ根治具
難治の痳病コシケ淋チを世上から驅逐する爲の本器は從來の手術も藥も効なき尿道內無數の病竈(巢窟)管內に潛める痳菌を吸出し且つ浸潤硬結の副尿道竈も悉く吸取つて數十年の慢性の淋菌も手術に而も根本的に速治す直に使用して永年の全苦痛を根絕されよ▲說明書進呈▲東京京橋區本材木町◆大阪北區北森町　新療法研究所
京城大和町一ノ四九　新療法研究所

糸卸
各種裁縫糸一式・レース糸・みすや針並附屬品
京城北米倉町　ビワコ屋糸店
…薄利多賣…　電話五〇五番・振替壹六壹五番

一滴ですぐ白くなる
日本に初めて出來た
純白美乳(ホワイトビニウ)
何故純白美乳を外出の前に必ず一滴塗ける習慣のついた方が何處へ行つても美の焦點として衆目を惹くのでせう乎、……斯ういふ噂が近頃婦人社交界で話題になつてゐますがそれは純白美乳を一度御使用になれば誰樣でも直ぐ成程と合點が參ります、即ち評判の日本に初めて出來た生地から色を白くする美乳のあの不思議の美白素を基礎として更に濃厚秘劑の配合したのが此品、ですから美乳を家庭で朝夕常用し十二分に生地を整へた上いざ外出といふ時タツタ一滴此の純白美乳を塗ければ忽ち水際立つた化粧效果の顯著さは醫士も驚歎した程……
(定價　參拾錢)

本舖　大學白粉本店　矢野芳香園

夏フトン地
製綿　旅行用具　鞄・毛布　洋傘　ワイシャツ　メリヤス　小供夏服　肌着類
京城本町二丁目　電一〇九一
丸一雜貨部
定價表送呈

第一版

滿洲遠邇（二六）

一貫生

化物堡壘と白馬

少し長くなつたが、餘り澤山人に知られて居ない旅順の戰跡を一敬二三紹介して置いて旅順をたゝる事とする。東鷄冠山北堡壘からスグ其の前にある吉永堡壘に通ずる道路に沿ふて連續設けた掩蔽を今でも商怪物堡壘と云つて居る。戰爭中に化物堡壘と云つて居たが、これに付いては種々の傳説もあるが、何れも例の支那式の神秘的なのであるから面白い、其の一例を示し見ると斯うだ、同所はもと山の神を祠つてあつた處で、露軍が築城の際支那苦力に之れが取毀しを命じた處が苦力は山の神の祟を恐れ「其命に從はなかつた、すると露兵は其の苦力の女房を奸めた上に夫婦を殺して仕舞つた、其れからと云ふものは此の堡壘附近に化物が出だした、或る夜の事、ある人の聞ゐ高かつた堡壘屯長の愛娘が突然姿を消して行衛不明となつた、百方捜査した結果堡壘の背面から血に染つた娘の衣服を見た、戰爭中にも絶ず白い淡い煙が立ち昇つて、其の何故なるかを知らなかつたのみならず、第一回攻撃以來、突撃して行つた者が二人も歸つて來ないから愈々化物堡壘の名が高くなつた、我讀者諸君の内にも、當時の事を思ひ出さるゝ人が定めて澤山あるのであらう。風雨多年化、堡壘は依然として神秘を包んで戰蹟の一部を占めて居る。鷄冠山北砲臺と云へば最一つ不思議な事があつた、日本軍が巧に突撃して行つても、露軍は何時の間に知るのか、必ず一定の場所に行くと一齊射撃が來る、幾度何度やつてもやられる。ので何うも不思議だと云ふ事になつた、間諜が居るのだらうと細心に注意しても何うしても分らない、が敵の一齊射撃が來る少し前には必ず前方の何處かの山を白馬が走せる、始めの内は氣が付かなかつたが後には誰云ふとなく彼の白馬が怪しいと云ふことになつた、で今度は其白馬が出ると直ぐ狙撃した、其以來敵の一齊射撃が以前の樣に來なくなつた、其も其筈で露軍の目先の支那人が日本軍襲來を白馬で通報して居たからである。

つた譯で其から爾靈山へ行くと、其山腹に寫眞師が出張して居ると云ふ小さな家屋が一軒ある、此持主は山崎君と云つて、爾靈山專門の寫眞屋さんである、此の人は非常に熱心な人で、苟も爾靈山に關する事は自身を忘れて盡力して居るもので、其一石一土の保存にも熱心である、何でも戰爭當時から居た人だ相な、私は爾靈山下に骨を埋める決心で爾靈山の爲に働いて居る、つまり忠魂を慰める事に努めて居る、遊んで居ても仕方がないから、寫眞屋をやつて居ると云はれる、旅順戰蹟長が盛に白玉山下に案内を乞ふと喜んで説明して呉れる、爾靈山に關した事なら何でもやると云つてをると同じく、丸岡君は爾靈山の恩人になつて居る。同君が爾靈山下を指して語るを聞くと、雨の夕方や、風の朝には、屹度遙に吶喊の聲が聞へますと、神經でもあらうが、熱心な人だ、定めて地下の英魂も喜んでる事だらう。

◎鴨綠江岸の新發展地＝三道浪頭＝

電鐵もできる

◆支那官憲の手で開發◆

安東縣の下流約三里の三道浪頭は四五百噸以上千五百噸あわよくば二千噸級位迄の汽船を一時に十數隻も繫留する事が出來る鴨綠江内唯一の良港であつて、現に昨今汽船の出入するものが一日平均七八隻の多きにも達して居る、然るに此所は何等市街地として設備の施されたものもなく、寂々寥々たる一寒村に過ぎない、而し地形と港灣の關係より見て將來は必ず一大發展を見るであらうとは萬人の等しく期待した處であつた（最近には支那の二三戸商人は安東から三道浪頭迄自動車運轉の計畫も立てた事もあつたが、自然沙汰止みとなつたと思つてゐる間に既に支那官憲の手は疾に同地に廻されて約十萬坪の地を相し一大商埠地を開かんとの計畫が着々進捗して居る、今ある確かなる筋から聞く處によれば約十萬坪の内其三分の一は地方商民の爲めに三分の一は同々數の爲めに又三分の一は支那商務總會が自ら握り既に地割を終つて

今年中には尠くも

五百戸以上の家屋を建築して盛んに四方より商店を招き一大商埠地を造り滿鐵の經營する六道溝に對抗して木材貿易の策源地に充當する意氣込みであるらしい素より木材の出入讓等も築造せらるゝであらうし埠頭、船舶等の設備も見る事であらう、猶又行く〳〵は政紀公司外二三の巨商によりて安東縣より三道浪頭に達する電氣鐵道の計劃も進捗して居る相な

將來支那街は上流

の沙河鎭方面にのみ發展し行くと見せかけて居たが突然三道浪頭に一大商埠地を建設するに到つた事は一寸日本人は鼻を明かされた氣持ちのせぬでもない（安東電）

德壽宮國葬畫帖

右豫約出版候處多大の御註文に接し本社の光榮とする儀に有之候然るに運搬上の手違にて用紙遲着せるのみならず出版製本に意外の日子を要し配本遲延し各位の好意に悖り候何分共多數の事故不少手數を要し漸く本日郵送を修了致し候間萬一不着の向も有之候は、其趣當社庶務部迄御申越相成度候

豫約特價豫約金は金三圓上製同上は金二圓五十錢として並帙特價豫約に有之候處兩三日間上製豫約金二圓と廣告したる事有之候右は全く當社印刷部の過失に候間不悪御諒承を得度候

猶帙入、上製共殘部僅少に有之候間若し本月廿日迄に御申越し相成候は、豫約代價を以て御送本可申候間小包料金廿七錢相添へ御註文被下度候

京城日報社

漁季

鯖（朝鮮海の魚王）…製造漁業…

朝鮮海に於ける鯖漁業は近年非常なる發展を來し年額七百萬圓を下らざるの盛況を呈するに至りしも既往十年前を追想すれば當時内地に於てトロール漁業盛んにして朝鮮水産界は全く之が爲め壓倒せられ不振の狀態なりしが漸次同漁業の衰退するに伴ない此餘力は自然朝鮮鯖漁業に集注する事となり林兼組、山神組の同魚罐詰業者出で漁業者側にありては長崎、岡山、香川、廣島、福岡、愛媛、山口の諸縣は

朝鮮通漁團を組織

し交々鮮海に出漁し盛んに漁利を收めつゝあるに際し更に日本水産會社新設ありて下の關各開業も亦漁を採するに至り益々斯業の活況を呈するに至れり又朝鮮海に於ける同魚の漁場は初春慶尚南方魚津、終秋より冬季初春、亘り慶北全沿岸、より初夏は同巨濟島承浦、正夏は全南青山島、秋季は咸南北道、終及び慶南方魚津沖合の順序年中間斷なく操業せらるゝを以て各會社は前述各地に根據を定め通漁者は之れ

大部分移住するに

至れり昨年の如きは諸物價暴騰に伴ない魚價も亦高價なりしを以て約八百圓に達せり然るに同魚製法に至りては粗雜なる鹽藏にして全收の約二割を出すのみ近年釜山牧之島に於て輸出食品會社の油鰯罐詰及びボイルト罐詰を製造するに至りしも其數滿少なり勿論現在にありては鮮魚の販路擴大にして魚價も亦高價なれば敢て加工を要せざれども再び内地に於てトロール漁業を開始するか或は各種の漁業一大豐漁を來すに至りては永く貯藏し得る

加工の必要を感ず

べし思ふにトロール漁業の衰退及び近年の魚價暴騰により斯の如き產格を維持するものにあらざる事を先に輸出向製法を攻究しつゝあり又米人の最も嗜好するものは七面鳥にして幸ひ鯖は其肉に最も類似し非常なる賞味を受けつゝあるが故に

更に調味方法を

研究しつゝあるを以て近き將來に於て必ず成功するは勿論輸出貿易上有位なるものとなるべし（釜山）

◎北鮮と露貨

禁止令と打擊

清津地方に於ける露貨ルーブル現在高は概約五十萬ルーブルと稱せらるゝが其の大部分は浦鹽方面より流入せしものなる爲め這回禁止令の厄に遭ひたるケレンスキー紙幣多く所有者は禁止令發布の爲め何れも大打擊を蒙り不安の念に驅られつゝあるがケ紙幣は五月十日以降一箇月の期間に於て半額をオムスク政府紙幣に他の半額を二十箇年賦無記名債券と交換すべく發表せられたるを以て清津の所有者中には之れが交換の爲め浦鹽行き手續丸にて多額の紙幣を攜帶して浦鹽に向ひしもの多かりしが尚清津地方のみならず北鮮一帶に露貨出稼鮮人多きを以て此等は何れも多數のケ紙幣を貯藏し居るもの如きを以て今回同紙幣の禁止に就ては損失打擊多大なるべしと（清津）

◎水害十萬圓

木材の流失夥し

去る十日の豪雨に於て新義州警察署管内の水害狀況を聞くに金額の最も大なるものは白馬郡附近三橋川に堆積しありたる安東縣石崎商店の抗木三十二萬本約五萬圓の流失を重なるものとして義州街の大橋の流失も又一萬數千圓の被害なるべく鴨綠江畔にも多少の木材流失あり田畑の損害も稍大なる見込みにして總計は十萬圓以上に達すべし又人畜の死傷にありては義州郡大津面三番地金明河（七〇）方にては河川氾濫の結果家屋倒壞し一家四名壓死したりと（新義州）

◎咸北と牧馬

雄基に種馬牧場

咸鏡北道に於ては管内馬匹改良の爲め今年度に於て總督府より三萬圓の補助を得て雄基附近に種馬場を設置する事となり之が位置選定の爲め津村道技師は本月上旬雄基に出張せるが種馬所牧場は約百町歩にして附近に官舍、事務所、厩舍物置等を建築する豫定なり（清津）

◎表彰稧（清津）

咸鏡北道内に於ける大正七年末現在洞契數は五百五十五契なるが内風紀衛生各種産業上の改善發達に貢獻し成績優良なる廉を以て今回道長官より左の六契表彰せられたり尚ほ昨年迄に表彰せられたる十四契を合して表彰せられたるもの總て二十契あり

吉州郡吉成面南田契　城津郡鶴城面（鶴）東面里契　富寧郡[illegible]民面（坂）洞契　茂山郡三成里（長壯洞契）　穩城郡美面（美）前洞契　慶興郡[illegible]面古邑洞契

◎筏の初流（鴨綠江）

營林廠に就て聞く處によれば先般來中流よりは昨年伐採の木材筏を見たるも新材の筏は五月末の豫定なるも今回の出水にて例年より早く多少早きを見るべしと（新義州）

◎營業稅…大田

◆賦課率と其標準◆

大田面に於ては曩に營業稅賦課に就き其筋の認可を得たるより同賦課額の調査を了したるが徵收額は四千八百四十六圓二十錢にして戸數は四百五十二戸なりと而して其賦課標準は左の如し

賣物卸賣、賣上高千分の一物品販賣小賣同千分二　貸金及質屋業貸高の千分の二　銀行及信託業貸出高の千分の一　市場組合、運送業、理髮業、周旋及仲介及湯業、印刷業、寫眞業、代書業、洗濯及染物業、遊戯場、宿屋及下宿屋業は各千分の三、劇場及興行組合は收入の千分の五、請負業千分の一、料理屋飲食店は千分の五等となり

◎大邱と覇紡

朝鮮紡織會社工場敷地は近く決定せんとするに當り各地共運動盛んなるより大邱に於ては運動を開始し過日府廳に府内有志を召集し協議の結果入城委員を選み近く入城する筈なり而して目下在城中の齋藤常務に懇談の上若し當大邱に誘致の場合は敷地の設定を見るに於ては敷地等に於ても多少の犧牲は勿論其他に於ても全力を上げ盡力する樣申し合せたりと

◎發疹窒扶斯

仁川に於ては

◇患者既に二十一名◇

仁川の發疹窒扶斯は四月廿六日の初發以來十一日迄の現在患者既に二十一名に達して居る然し經過は概ね良好で何れも癒し又は快癒しつゝあるが此の内死亡者は僅に一名に過ぎない處が此の發疹窒扶斯は非常な

傳染力

を持つて居るだけ未だに下火處か益々蔓延の兆があつて十一日の如き仲町には一家二名親子同時に發病寺町病院へ收容された處もある之等は或は發疹窒扶斯たる事を知らずして放任する事もあらうが或は傳染病たるを知つて隱蔽する舊思想から遂には多くの患者に傳染せしむると云ふ不覺を取る事もある、決して絶無ではない畢竟するに市民の衛生思想がまだ頗る幼稚であると云はねばならぬ若斯の如き

狀態で

あつたら何時迄經つても傳染病の撲滅さるべき時機は來ない自ら危險を作つて遂には自ら避る結果となるのであるから一般に注意して此の惡を學ばぬ樣に若し發熱でもする樣なら直ちに進んで醫師を迎ふる位の注意を絶えず持つてゐなければ自らを殺す危險が伴なふのみならず他にまで憾れがあるのである、此點は特に市民の注意を促して置く、そして此の流行しつゝある發疹窒扶斯の

徵候と

して素人に一番よく判り易いのは發熱と同時に眼が幾分充血する樣に紅味を帶ぶる事と身體全體に妙な吹出物が出て來る樣な、此の二つの症狀が發熱に伴うたら時を移さず醫師を迎へて適當の方法を講じなければならぬ若し隱蔽する樣な惡い事をしたら最後必ず症狀危險に陷り遂には一家悉く全滅の懼れなしとしないさうである

人口

本城…最近調査

	男	女	計
内地人	七、四四	六、五三	一四、七七
朝鮮人	二三、〇三	二〇、四三	四三、四六
外國人	一五	二三	三七

しないさうである

◎鴨綠江舟筏會社（東安縣）

在安東支那實業家呂永興、徐志遠、謝中野、初文郡、田中德次郎、栗原圓三、尾崎大郎の發起の下に鴨綠江の舟筏經營及び運搬を目的とする鴨綠江舟筏會社を創立すべく計畫中なるが諸般の準備熟し居る由なれば不日其の創立總會を見るに到るべし同社は資本金二十萬圓として四分の一を拂込み創立次第直ちに營業を開始すべし

◎桐の木競賣（仁川）

仁川栗木里三番地日本人共有の桐百二十本を今回競爭入札を以て拂下ぐる事となるが同所在の桐は直徑一尺位より一尺六寸位迄のもの多く時價として餘程の金額に上るべく希望者は府廳財務課迄申出らるべく入札期日等は追つて確定發表すべしと

農信

麥の發育恢復（慶北）

今春以來慶北地方に於ては降雨缺乏の狀態なりし爲め麥作に悲觀す可き狀態を呈し居たるが去る十、十一の兩日に亘り二十二粍強の降雨ありし爲め麥作に非常なる好影響を與へ本年の收穫豫想に比し一割以上の增收を見るべく當局に於ては憂慮し居たるも各地の降雨により尚又陸地棉も芽狀況多少不良なりしも今回の降雨にて發芽良好なるは勿論以上に今後適當の降雨あらんか本年の收穫は或は豫想以上に達するならんと某氏は語り居れり（大邱）

商況

東京現株中値

◎十四日中値

銘柄	値
東洋拓殖	七九、〇〇
同新株	…
朝鮮銀行	一八五、〇〇
同新株	一二七、〇〇
南滿鐵道	一五五、〇〇
第一新株	一二〇、五〇
第二新株	八〇、〇〇
京城電氣	九五、〇〇
同新株	一九、五〇
南滿製糖	一二五、〇〇
朝鮮瓦斯	一八、五〇
大阪商船	一五八、〇〇
同新株	一二〇、〇〇
日本郵船	一三二、五〇
同新株	一〇四、〇〇
鐘淵紡績	三三三、〇〇
同新株	二九九、五〇
東京株式	二四〇、〇〇
同新株	一三三、五〇
南洋興業	…
寶田石油	…
同新株	…
横濱取引	…

東京株式時電

◎十四日後場引

銘柄	値
東京株式	二四〇、五〇
同新株	一三三、八〇
大阪商船	一四八、〇〇
同新株	一二三、三〇
日本郵船	一三三、〇〇
同新株	一〇五、九〇
東洋汽船	…
同新株	…
鐘淵紡績	…
同新株	…
東洋紡績	…
同新株	…
富士紡績	…
同新株	…
南滿製糖	…
寶田石油	…
同新株	…
横濱取引前場	…
新高製糖	…
北海炭坑	…
同新株	…
南滿鐵道	一五五、〇〇
第一新株	一三三、三〇
第二新株	一〇〇、七〇
東洋拓殖	…
同新株	七〇、〇〇

東京期米時電

	十四日後場	十五日前場
當限寄付	…	…
中限寄付	…	…
寄付	三三、二九	三三、三一
高値	三三、三九	…
安値	三三、二一	…
止め	三三、二一	…

大阪株式時電

◎十四日後場引値　十五日前寄

銘柄	十四日	十五日
東洋紡績	…	三三〇、〇〇
同新株	…	…
合同紡績	…	…
鐘淵紡績	二〇八、二〇	…
同新株	二九九、二〇	…
東洋製糖	一三〇、一〇	三三、九
大阪商船	一四六、六〇	…
同新株	一三五、八〇	…
日本郵船	一三三、〇〇	…
同新株	一〇五、九〇	…
東京株式	…	…
同新株	…	…
堂島米穀	…	…
東京瓦斯	…	…
大阪瓦斯	…	…

大阪三品特電

◎十四日前場

綿布三銘　十一四八十錢　四一五〇〇

大阪期米特電

限月	値
五月限	…
六月限	…
七月限	…
八月限	…
九月限	…
十月限	三五九、九〇

◎十五日前場寄附　三十五圓六十錢　中限寄付三十四圓三十八錢　十四日後場後場買ひに株式筋（十五日前）三、六七

神戸期米特電

◎十四日後場　十五日前

	十四日	十五日
寄付	三四、〇一	…
高値	三四、〇一	…
安値	三四、〇三	…
止め	三四、二三	…

下關期米特電

◎十四日後場　戻り留

寄附	三五、〇〇	三四、五五
高値	三五、八〇	三四、八〇
安値	三五、一〇	三四、〇〇
止め	三五、一〇	三四、〇〇

京城現株標準値

銘柄	拂込額	現相場
仁川取引	五〇、〇〇	一一五、〇〇
同新株	一二五、〇〇	一七四、〇〇
朝鮮電興	二〇、〇〇	一七〇、〇〇
朝鮮皮革	一三、五〇	一三〇、〇〇
東洋畜産	一三、五〇	一三、五〇
朝鮮紡織	二〇、〇〇	一五、五〇
殖産銀行	一二五、〇〇	三三、〇〇
朝鮮郵船	二〇、〇〇	四三、〇〇
朝鮮製紙	一二、五〇	二五、〇〇
朝鮮土地	一二、五〇	一二、五〇
朝鮮製粉	一二、五〇	一〇、〇〇

雜報

◎正米強持合

仁川は現物引續き少なからずさ雖も地に比し割安觀念強くして買人の態度頑強なる上に白米の移出注文は別項の如く輻輳せる爲め自然必需物米筋の買進みありて氣配動もすれば上走らんかの氣勢なるが必需口さて探りは上値の高値買を許さず一面値頃の手放しもありて今朝けは辛らく持合ひを呈せり何分沿線地方さは依然不出合ひにて當地は此處らず、みな

玄米の移出も採算の餘裕なれるも各地の均衡上

上限を先伸は繼續せんかの模樣なり本日の出來高は玄米千二百九十七叺最高三十三圓八十錢最底三十二圓九十錢の手合せ行はれたり

◎白米デリ高

内鮮各地の安協たる關係上白米移出は既報の如く注文輻輳し一口は既に約本月一杯は出切り又茶筋は既に注文を掘り元山方面き有る迄に注文を掘りて原料の必要買進みさなり氣配次に高模樣を呈し來れる節前日來の出來値大阪神戸の二十二圓五十錢にては全く不引合ひさなり昨午後以來夫々四十三圓

見當

りの買指値を發するに至り返し同指値に應じ買

慕はれる

有様にて昨午後以來更に可也の商談纏りしも以の如く從つて之に比較し割安にある市中御値も又々上向き步調さなり今朝は四十四圓二十錢よりへさなれり

一部五十錢の唱

◎仁取株頭打ち

仁川取引新株は昨日正午迄は資物薄さ買氣旺盛さ相待つて二三四圓方の上値み呼び七十七圓迄賣買されたるが某一件の餘燼未だ全く消ぬに

又復人氣沮喪

燃せし一時に頭打ちの姿なるが或る筋よりは此機を逸せず買拾はんさするもさへありたるも一部の頑强說を信じて發頭打ちと手仕舞すべき少なくまた仁川方面へ進征を試みたる勇者は自然ざれ一部の

物氣筋の投

げ物を以て一般に輕迷を生じ七十三圓乃至七十四圓五十錢處迄下押されつゝありしが

今仲買店

仁川米豆取引所仲買人　電話二六二番

◎殖銀株昂騰

新規拂込み

近く一部に行はれ居り泉して之が資金の關係は同行の増加する銀株は本日一株式の如き說行されし株券の融通に昨日の如き

口注文

自然に本日の株に對し内地筋より大

三圓方の暴

騰を示し

◎鑵詰新筍昂騰

新物前氣配の安値移りに拘ら十七八錢留まりさなり一昨夕鑵七十七八錢處に下落せし鑵詰筍は原料の不作と容器鑵材市價引返しにより新物に對する思惑筋を誘起し大に

豫約買占め

行はれたる爲め新物産れは案外高値を現はしの新物に對する生産は原料不足に製品も前品の如く少なからず迄の高値を生じたる結果更に市價の昂騰を促進し昨今の阪地相場は一號品九十錢二號品七十八九錢を唱ふるに至り之より打

餘地を存す

開する尚六七錢方の上時は新規入れ更に引締まるべし

◎梅干は暴落

新物の產地出來榮へ未だ確實ならざるも紀州方面は稍々平年に近かき收獲を傳へ新漬擬想氣配は古物に比し三貫六十錢五百目入にて

内外の下値

因は一昨年品季以來の暴騰にて前年に於ける漬込み激增せしに反し西伯利出征の我軍隊引揚げ採想意外に早かり爲め之を目當てに買占めたる思惑外れさなりし爲め本品は漸く本年は結局此の處まで以前より下げて行くとか

◎支那粟鈍調

支那粟は此筋日來引續いて入荷多く且つ地方需人荷々高値きなると共に地場買人又見送り狀態さなり此處に

漸く荷間の振合

是せる勞氣配ボンヤリさなり本日は開城物十三圓六十錢見當に

一二十錢内外引

弛みたり

◎支那粟…仁川

洛せる依然たるも現在内地市場に於ける需要多く大連方面に於ける又たる
近く第下落
出來高數大勝

七八十錢方暴

落し三圓乃至の一日三圓商にて景況は斯く

◎毛斯先物小綴

現品難の爲め底意却て丈夫に保合ひを持續せる毛斯綸市場も弦揃ひ期の需要閑散を見越し且つ絲糸の引續き下押氣勢ながめ大人氣益々軟弱に辿れるも一方歐洲に於ける南阿毛市場に傳ふる

原料羊毛岱々强硬

の需要にて確實見送り氣味なるより値て一般に見送り氣味なるより值はるゝのみにて現物赤百番九十四錢五厘大阪三千番及び上毛六千百番九十四錢で同亦とな へがら五六月限は先安觀念濃厚なる關係上幾分安合み赤百番九十錢さなへの五厘方引弛み引續き逆賴み報ぜり

◎内地糖界熱狂

砂糖相場は戰時中獨り低落を續け來れる反し一として本年に入りて以來世界的供給不足及び米國の戰後處處想の爲めに我次弗職に米國の競爭へさヲヤザア商に剩賴されて市況益々熱狂的に騰硬となり最近ジャヴアより買十九弗の入電ありて大阪市場は分蜜二十四二十錢糖は三十二圓三十錢さ本週に入りて各四五十錢方暴騰せり現在の分蜜相場を前年同期に比較するときは六圓前後の高値にして

瓜哇黃双相場

は前年同期に比し約

約三倍に達

し内地在庫高は昨年に比し約四十萬擔の增加を示せる今後の入荷は少なると以て一局持越高は前年の約十萬擔に對し本年は皆無の狀態なり

南大門廻穀

南浦小麥	四〇	叺
平澤白米	二五	
仁川粟	七二	袋
新義州	麥	四五
平安南	大麥	三二〇
平壤	郡山	玄米	二六
水原	白米	八四	叺
水原	大豆	四
水原	玄米	二〇

一九叺　水原　白米　二七叺　平南大豆　四　一四叺　水原　玄米　二四四叺　東豆川　豆　一〇〇叺　仁川粟　七七叺　京城　山粞　三二叺　元山　粟　一四八叺

仁川正米市場

今朝天候晴天各地入荷なる未著も前日大阪後場大阪當限三十五圓八十錢中限三十三圓四十一錢の高値に先限三十三圓八十錢の高移りに各地兵市場は三十四圓四十二錢東京三十三圓三十錢さ續いて高値なれば當地正米市場は人氣益々高く内地移出は神力上等合格の三十四圓より三十二錢見當迄買進み品は高値を唱へる丈賣物薄く相場は先高見越に大抵賣越しみる品あり猶も地廻り産地より農家の賣物出する迄は

安値は望み難く

維みに步調居れば新玄米も當地は輸出口の相場を見て値を出し居るも安賃の三十四圓五十錢見當より六十錢を唱へ

後高見込の買

物輻輳の狀態なれば今日は一段

平澤三等神力	三十四圓二十錢
同三等神力	三十四圓五十錢
地撈玄米	三十三圓…
報恩	十四日仁川驛受渡
忠清道	三十四圓…
黃海道在米	十四圓六十錢
白川物	十六圓五十錢
大豆郡山物	十五圓…
長湍物	十六圓四十錢
小麥海州物	九圓九十錢
大麥	

釜山正米

白米小安値段

特等米	一升	四十二錢
一等米		四十一錢五
二等米		四十一錢
三等米		四十錢
		十五錢

期米は時合の爲め當正米市場は三等神力三十六圓四五十錢にて四千石出來せり（十五日特電）

各地米況

◎群山（十二日）天候快晴

現物（別合保合）天候快晴本品各地の方面に於ける時期の在米の數量は漸次少さ前日來の正米にて品薄へつゝあり從つて在米は日々品薄を唱ふるに至り品薄なるより本品の需給は步々しく日來旺盛なるが於て昨日は賈敬收高の影響より市況は伸鈍狀なりしが今朝市場に於ては中期朝鮮米は寄付より高く三等合格米三十四圓七十錢見當にて午前中千七百餘叺の取引行はれしのみなるが氏當は强硬なり

生魚市場

群山沖竹島方面の延繩漁は過日來の大潮にて操業を妨げられ居たりしが頃來稍大漁となり入荷多く一般に三割方の下値を示し殊に鯛の如き昨日より十圓の下値さなり又本日は仁川鯛走りとして日の丸市場に初入荷を見たるも群山鯛の値安に押されて初物さしては比較的安く一貫一二百目の物六圓五十錢を唱へり

京城市場卸平均値　たい四五、小だい三二、もび一〇、しゃ甲いか三五、あなご二五、小いか三〇、小ひ六〇、すゞき三〇、ちめだい三〇、かに三五、たこ一九、は一四、ふか一〇、さば九牛、きで二一、さより一〇〇、日の丸市場卸平均値　たい四〇、あまだい三〇、ちめだい二八、すゞき三五、ひらめ一六、かれい二〇、さば一〇、もゝはび六〇、にべ三一、甲いか五〇、ぼら三〇、こち一五、かに四〇、ふか一五、小だい三〇、小物一八、

青物市場

内地大根品切れさ共に市場の走り物指入の物十五本束三十錢まり四十錢處を唱へ又レ五日前よ

下關相場

正米は不同	朝來天氣全く好晴	

正米は多からず天候又至極平穩なるし込米は防長米百二十八俵、大津米二百五十俵、肥前米百五十俵の合計六百二十八俵が昨市況は開始以來何の値頃關係よりしが多い前日正米市場の出廻り品は品薄なり肥前物の如く狀勢より配合上より多く積合の一般整成の如く前日は買物の手控へ商況を逃がず必要に迫り期米前日の高値の唱へを以て手持品を放出すれば上に賈進み少なく品に前からず下る手持品の注文入り來らずるる行き持る様にて特る上り狀況...

白米	三一六〇
三等	五三〇

四五、しんさく一五、たまれぎ一一四〇、ぎうり十四九〇、なす一個五〇、きぬめ一升五〇、へたな一升二〇〇、まつたけ百目一〇〇、あかだいこん十五本一束三五、わらび十束四〇

北濱たより

▲商船株　五割配当說や拂込みをとの云ひ傳せらるゝ爲めではあらうけれども昨今商船の商狀は手堅くなりたるが當期の决算は一般に豫想したよりも優良であつた事は事實であるが大體に於て配當に比して其の實價はお船ほ郵船の比し兼ね同株に比して七十にもなる會社は極めて悲觀せられて居る分量が少ないから相場が躍るくもなくは一般株が皆が相場が大きくて行く、そ此の間は低落し嘉はれに加へ反つて買込んだ手筋の買戾しが現はれるのは同株が昨今の商狀は手堅いのであらうと想はれるのであ

◎肥料の現況

魚肥は屢々肥料界を賑はしたが前月來の時期にも依然一般の人氣先安見越しにて相場も緩慢なる折から四月に入りて相變らず買人なく出廻り行き然るに大阪神戸も依然としてゐるが各地の期日來の狀況も依然買控にて肥料市況益々不況なる狀態なるに何分生產費の向上に伴ひ肥料は安値にも手放さず又當業者は肥料の安き時期に於て買入り相場下崩るゝ者へ傾いて買ひ方にも賣物にも至れるは何れも前途は昨年よりも僅かながら緩やかに思はれた肥料の配合は入荷意外に少なく何分の一肥料業者の輸入の減少を以て見込み居る所へ注文者は少なく其の輸入は總計四四萬叺で十七萬叺は米國產なれども今年に入りて旣に一般に手持も少なからず肥料と前年に比して三百三十叺の輸入は前年の半額に過ぎず肥料は一般に品不足の見込みなり

▲大豆は依然底強し　本品は別に賣行き盛からず雖も已が如き事情の下に各手持筋の賣渡しは大豆に拒むは相場の上伸さるも小豆も前日に比して五十錢方高く入港したるは花小豆

◎同　朝鮮一等白米　四十二圓四十錢
◎同　同　四十二圓五十六錢
◎同（清州）　同　四十二圓八十錢
◎同　奥地白米　四十二圓五十錢
◎同（忠清南道）　四十二圓二十錢
◎安東縣花小豆　二十二圓五十錢
◎同　二十四圓六十錢

演藝案内

本町一丁目有樂舘改　喜樂館
電話九七番

五日より三大映寫特別興行　米國トライアングル社名作『名譽の一兵士』全五卷　コメディ全一卷

▲喜活劇『白稱勇士』全五卷　松之助中村扇太郎　大力角兵衛　全四卷

浪花館　京城明治町電話二六〇　浪花節芝居　廣澤虎丸一行　五月十五日午後六時開演

▲大活『モルソンの冒險』全四卷
▲大悲劇『乳屋の娘』全六卷　山中峯三　天田猿

黃金館
◎新派『迷の果』全四卷
◎二刀流『宮本武勇傳』全四卷
◎大活世界『死の渦卷』全六卷
電話（番）二二六八

大正館　電話八七一番　櫻井町
◎米國『宿屋の娘』全二卷
◎秘話『神の怒り』全六卷
◎『幡隨院長兵衛』

壽座　京城本町　電話五七八
▲『知らぬ同士』
▲『六歌仙』
▲『廻る罪』
▲『狂い咲』

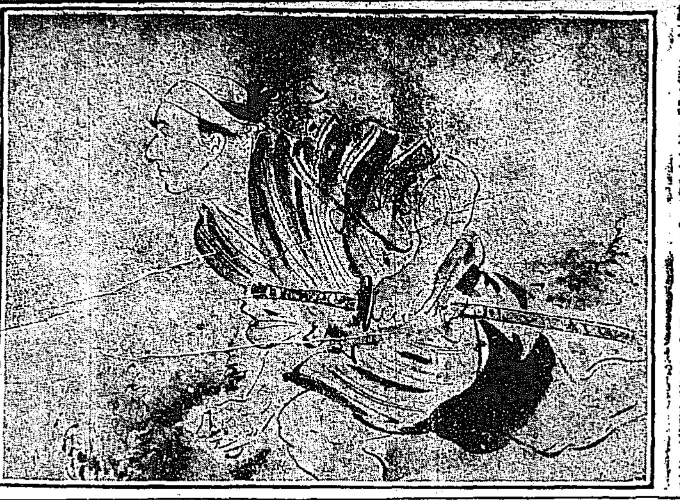
壽館　本町二丁目　電話一〇五〇
五月十七日午後六時より　旭倶樂部會發會披露演奏會

香味芳烈　大寶

日本名刀傳 四十六

東京 田邊南龍講演

伊勢太郎正俊（三）



此時遠くの方から謡へながら見て居る見物の後から『退いた、退いた、其處退いた〇『アレ、和田の親分だ『和田の親方だ』と見物は左右に開く、二尺七八寸の業物を腰に打込み、後鉢巻十字の襷、裾高々と端折上げ、紺の木綿の上三尺をキリッと締た物凄い扮裝、信州和田の俠客、弱きを扶け強きを挫く清兵衛と云ふ當國切つての顔役、暫く旅行をして三年振りで戻つて來た、諏訪の西の宮辨藏と懇意であるから土産を持つて尋ねて往くと辨藏の話しの中に、悪黨勘太、長義が家へ宿つて居た旅の客人に喧嘩を仕掛ける積りか殺さうと云ふ謀計か、大勢揃つて出て往つた、氣の毒なのは客人、多分今頃は殺られてしまつたらうと云ふのを聞いて、義に勇む清兵衛、何で其儘に聞き流しませう『野郎共俺が居るうちはおとなしくして居やがつて、少うし明けるとのさばりやがる、旅他國の方に迷惑を掛けてはならん、合點出來ねゑ、助けて上げやう、彼奴等がもうのさばらねやうに息の根を絶つて與れなきやァならぬ』と慇懃な身仕度をして是迄馳付けました『旅のお方、氣を確かにお持ちなせい、和田の清兵衛が助太刀する、己、勘太、長義もう命は助けねえぞ、旅のお方に巫山戯た眞似をしやァがつて、さア、野郎共覺悟しやがれ』一反り反つた大業物を引抜いてビュウ、ビュウと振つて飛掛つた『アレ、清兵衛の老惑が來やがつた、邪魔をしやがるな、破れかぶれだ、」野郎、清兵衛を叩斬つちまへ」長『勘太親分の言ふ通りだ』と二手に別れて長義は正俊に向ひ勘太は清兵衛を相手として其他の乾兒は宗匠、俊道に向つてチャリン、チャリンと火花を散らした『野郎、俺に向やがつて此の悪黨共、勿體ねねこゝを知らねねか』と勢ひ込んで斬りかゝる、清兵衛は今年五十三、もとより荒い稼業の長脇差、二十歳の時から劍の刃渡りの男の達引眞劍勝負は數知れず、場數巧者の冴たる腕、何ぞ以て耐りませう、勘太は次第に斬立てられ後に退るを長義は『兄貴、見つともねえ唯一人の清兵衛に負ける奴があるものか』勘『ウム、さうだ』と氣を取直して勘太は眞甲から斬込む一刀、清兵衛はチャリンと太刀を引つ外して『野郎覺悟ッ』と打込んだ劍に、さしもの悪黨勘太も、額から鼻柱迄斬下されギャッと一聲倒れるのを『親分が殺られた』と左右から斬込む乾兒の太刀を是れも引外して右の奴は逆に袈裟掛け、左の奴は満面に斬付けた、アッ、バッタリ、キャッ殘りの者は敵はじと逃げにかゝるを追ひ込みさま後より一突、キャッ、ドタン逃げ損つて狼狽する奴を左の肩から斬下げた今一人が死物狂ひで引返して來るのを、横に拂つた一刀に、キャッと首は向ふへ飛んだ。

朝鮮ホテル 病院 御用
牛乳
京城東四軒町 岡野牧場 電話一六〇九番

◎忠南製の酒 成績頗る良好

忠清南道に於ける大正七年度酒造年度に入る日本清酒の釀造は三月末日を以て皆造と爲したるが同年度に於ける製造高は千九百七十一石にして前年度製造高千八百四石に對比し百六十七石の増加を見たり之が地方別は論山（八百十七石）を最とし江景（三百九十九石）大田（二百九十二石）鳥致院（二百九十一石）公州（百六石）の順序を以て之を亞ぎ尚ほ之れに次げるは保寧、大川等にて原料水の撰擇と村民の研究とに基づき品質昨年に比し一段昂上し北鮮並に京釜線湖南鐵道沿線地方の需要頓に増加し頗る好況にて來年度に於ては更に造石數を増加すべく既に準備に着手したる由（公州）

◎移出米餘力 全南六郡に於る

全南鐵道沿線即ち咸平郡外五郡に於ける五月以降十月迄の米穀移出餘力見込數に就き最近某當局の調査したる所によれば總計約一萬六千二百石（玄米換算八千一百石）玄米七千四百六十七石にして前年同期に比し稍多き感ありこれが原因に就ては的確に述べ難きも作夏以來米價昂騰の爲め農民が米を節約したると優良米種普及並に一般農業の進歩發達に伴ない耕耘肥培の改善により自然收穫亦少からざりしに因ると

◎水産組合技師（釜山）

前忠南道水産技手大野潮氏は今回慶尚南道の上朝鮮水産組合技師として赴任したり

京城明治町一丁目
胃腸病院 入院隨意 電話一六五九番
院主 佐々木杏造

五月十七日

土曜日 (舊)四月十八日 己巳 九紫 明日 先負

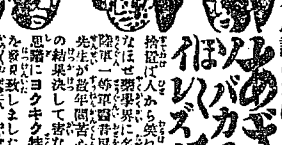
▼九紫▲兎角注意の足らぬ日なり
▼一白▲午前中は餘り面白からざるも夕方前より意に充つこと多し
▼二黑▲幸福なる日なり金錢上の事には別して好し萬事進んで吉
▼三碧▲變動を意味する日甘く行かば意外なる幸福の端緒を得べし
▼四綠▲用事は午前中に片付けて了ふ方得策也午後は兎角故障多し
▼五黄▲愼みて時節を待つべき日
▼六白▲運の向くべき日なり、何事も静かに取り掛らば成功すべし
▼七赤▲吉運の來る日なり能く後前を考へて事を爲さば成就すべし
▼八白▲度過ぎより迷ひの起る日

人蔘王丹
京城本町壹・電話 一四八〇番 一八七〇番
㋡ 津村兄弟商會

流經新藥レスブリン
月經
閉止四五ヶ月以內に有效、作用を實以て容易く應用の目的を達し其効果他藥に優越す藥價一圓壹圓廿錢送料四十五錢切手一割增説明書二錢切手添申越進呈振替大阪
北區曾根崎上一丁目三六地 常盤藥院

人から嫌われる
わきが を
◎根本的なほせ
◎疑ひ深い人は死ぬ迄なほらぬ
◎化學的療法無代進呈
藥學界に名聲ある陸軍一等軍醫吉尾博士先生は男女わきが病にてお困りの人を助けん爲め數年間苦心研究の結果今回最も進歩したる「チゼン液」と云ふ不思議にヨクキク責任ある藥を創見致しました是迄無責任な一寸素人ダマシの賣藥にて効無くお困りの人は彼是と迷わず一日も早く東京府下大久保町西大久保五十一東京博愛藥院究にハカキで申込めば新療法の本を無代で上ます

◎不思議になほる
あざ ソバカス ほくろ いぼ
捨置けば人から笑れる今なほせ醫學界に名聲有る陸軍一等軍醫吉尾博士先生が數年間苦心研究の結果決して害なく不思議にヨクキク特効藥を發見致しました是迄種々無責任な賣藥で治療しても効無くお困りの人も彼是と迷はず一日も早く三錢切手封入「東京府大久保町西大久保五十一東京博愛醫院」へ申込めば無代安全秘密に治療法の本を無代進呈



彩色圖入 無代進呈 全一冊
肺病の解決
ハガキで申込めば秘密送呈す
六ヶ年間に亘る研究と實驗に依り始めて考案された藥と化學療法を詳細に解説せる書なり
東京市向島小梅二二三 東京藥化學研究所

絞染機械 取次販賣
同 染料
同 下繪
京城本町四丁目 絞染研究會朝鮮支部
橋本梅子 電話一八二七番

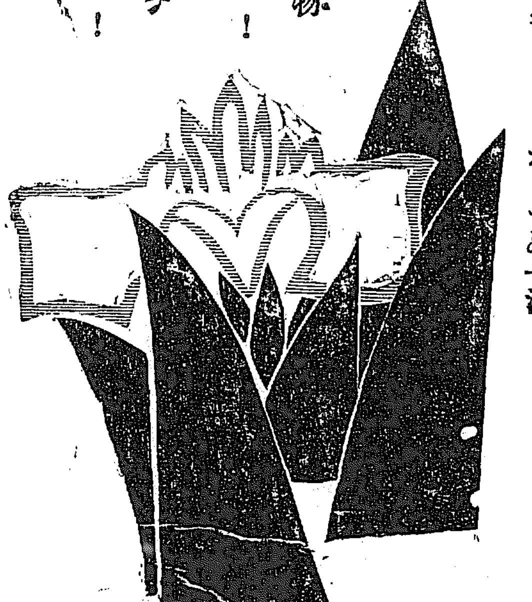
登録商標 本椿香油
毛を黒く長くつやを出し
赤毛くせ毛ぬけ毛折毛等を防ぐ事妙
本舗 大阪西横堀 三宅堂

血を増し
肉を肥し
體を強し
膚を潤す
補血強壯
肥肉丸
効能
◎貧血病にて身體痩たる人
◎うまれつき虚弱の人
◎心臟病にて色蒼白く動悸亢ぶり顔手足腫れ盗汗出で氣不勝なる人
◎神經衰弱及病後衰弱の人
◎黄疸にて總身黄色となりたる人
◎肥肉丸を用ふれば奏効顯著にして遂に治病の目的を達す
◎平常持藥として用ふれば健康保全の効あり
ウサギ印 商標注意
價 三日分金五十錢 七日分金一圓 十五日分金試用四十錢 三十日分金五圓
本舗 大阪市堂島元蜆橋 高橋盛大堂本店
發賣 同心齋橋筋博勞町 高橋盛大堂分店
同 東京市神田岡町 高橋盛大堂出張所
到る處の藥店にて販賣す

春の風引には
大學病院 模範方劑
解熱完全劑 カゼピリン
KAZEPIRIN 調劑處方有効保證
本舗 東京 淺野榮天堂藥局
到る處無數の特約店にて販賣す

新田式耐水調革
新田帶革
朝鮮總代理店 京城本町四丁目 白神洋行
釜山 白神洋行支店
定價表申込次第送呈

金鶴香水
初夏の外出にかゝせぬ一滴
お召物にも!
ハンカチにも!



花王石鹸製造元 鶴香水關東代理店 東京 長瀬商會
鶴香水日本輸入元 花王石鹸關西代理店 大阪 大崎組商會

ゴルフ
ゴルフは高峰博士發見の有名なるタカヂアスターゼを主藥とせる美味の健胃消化劑にして如何なる頑固な胃病にも不思議な程よくきく、年中健康で暮したき人は毎食後三四錠づゝ服用せられよ。
定價 一圓 廿錢 五十錢 廿五錢
全國到る處の藥店にあり
東京室町 大昌製藥株式會社

帝國醫科大學病院及諸大家に於て國產フエラトーゼとして盛んに御賞用を蒙りつゝある
正しき補血強壯增進劑
ブルトーゼ
見よ!
阪井醫學博士は臨床的實驗報告に於て本劑を貧血症、神經衰弱症、腺病重病の恢復期等六拾參人の患者に服用せしめたる例に依り滋養製血強壯劑として驚くべき効果あることを認められ一般家庭汎用に適する優秀なる營養增進劑として推奨せらる（二月號ポケット臨床月報所載要領）
ブルトーゼ本劑が體內に於て如何なる作用を爲し如何なる効果があるか詳細は説明書にあり先づ試みに説明書を請求せられよ直に送呈す
ブルトーゼ本劑は全國到る處の有名藥店に販賣す萬一品切の節は直接發賣元へ御注文を乞ふ

適應症	種類
補血強壯營養增進劑	單ブルトーゼ
黴毒性疾患特効劑	ヨードブルトーゼ
神經性疾患特効劑	アルゼンブルトーゼ
呼吸器系疾患特効劑	グアヤコールブルトーゼ
健胃性補血強壯劑	キナブルトーゼ

▲各種共一瓶二五〇瓦入(約半ヶ月分)
發賣元 藤澤友吉商店 大阪道修町 東京本町

汽車發着時刻 京釜線(南行) 同(北行) 湖南線(南行) 同(北行) 京仁線(下) 同(上) 馬山線

[illegible]其時の野がれたりし[illegible]
[illegible]株主を無にして今回[illegible]責任者也)
[illegible]協議を重ねしが 及び西村[illegible]同社取締役)
其間多少の議論の出しも殆んど諸 和登良吉氏(長春[illegible]行取締役)の三
る上法規の手續に依るべきの趣旨[illegible] 非役等よりの申請もありて一時は 金策不能の爲め竟く解散となりし
に依れば却つて債權者の[illegible] に各債權者の配當となり買收[illegible] は到底より以上の額に上らざる[illegible]
[illegible]居りて契約書に調印せざる爲めに 以て論ずれば多少失態と稱する點
[illegible]に却つて此際社會の疑惑を惹き起 さんかとの異論ありしも遂に[illegible]

京城日報
(年中無休刊)(日曜日 祭日 休刊) 大正八年五月十六日 (明治三十九年八月 第三種郵便物認可) THE KEIJO NIPPO 第四千七百六十號

本紙定價 壹部金參錢 壹箇月金七十五錢 ▲前金… 廣告料金 … 發行兼編輯人 奥田直毅 印刷人 小川三之介 發行所 京城太平通一丁目 合資會社京城日報社 電話 …

啓蒙小言(三)

京城日報

張總督の日支關係論に就て

日本の朝鮮併合が、支那本部侵略の前提なりとの當推量が、雪隱の帚木に膽を拔すの臆病者に似て笑止千萬のとなるに、日本の政治的經濟的勢力が、支那の内部に進展するは支那をして第二の臺灣たらしむるものなりと公言するに至りては、支那の有識階級とも稱せらる、者にして、不見識の甚だしき、殆ど吾人をして臍の宿替を餘儀せしむ。試に左の一節を看よ

民に中國人民の日本に危惧を懐く第二の事實は臺灣問題なり支那が日本に臺灣を割讓するや支那は恰かも佛蘭西のアルサス・ローレンに對すると等しき感み有す殊に日本の臺灣を占領して以來其の臺灣人に對する政策の跡を見るに滿朝の末年漢人に對せる政治に比して及ばざるものあり滿朝は(一)立憲政體の準備を爲し(二)滿漢民族の差別を撤廢したるに日本は臺灣人に公權を附與せず日本人の受くる法律的保障並に財産上政治上社會上に於て受くる所の待遇を與へず日本の臺灣に對する此政策を見て中國人民は日本が中國人を奴隷視するものとなせり若し日本の政治經濟の勢力が中國の内部に發展せんか中國の他の部分も亦臺灣と等しからんべし故に中國人は日本を以て中國の國家及び國民の仇敵なりと見るに至れるなり

彼等は眞個に日本が支那を第二の臺灣と爲し得るほどの實力を有すと信じつゝありや。四億の民衆を擁し、日本に數十倍せる廣大なる國土を有しながら、眇たる日本を恐怖する何ぞ此の如き其れ甚だしきや。思ふに支那は誠に弱大國なるべし、然れども其國を擧げて日本の政治的經濟的の征服に委ぬるまでに、沖散腐爛したりとは見ねず。又しかく買ひ被られたる日本も、未だ曾てかゝる途方途轍もなき野心を抱藏せしことあらず。若しさる野心の一毫も日本に存在すとせんか、何が故に支那の中腹に進入すべく絶好良なる膠州灣を還附し、之を純然たる商埠とするの矛盾を敢てせんや。思はざるも亦甚だし。

吾人は又しても彼等が曲歴に對して、聊か辯明を爲すの煩はしさを忍ばざる可らず、彼等は日本の臺灣治政を以て清末の政治に及ばずと罵倒す。其論據として臺灣人に公權を附與せず(一)日本人の受くるものと同樣なる法律的保障を與へず(二)又差別的待遇を爲す(三)等の事を擧げたり、其一は如何なる意味なるや、詳かならざるも、日本内地同樣に憲法を施行せずと云ふならんには、是政治を解せざるもの、恐言のみ、日本は獨り臺灣のみならず、朝鮮にも又樺太(日本人のみ居住する)にも、彼等の所謂公權を與へあらざるを知らずや。是れ畢竟未だ其時機に達せざるがためのみ。與ふべき時機に達せずして與へたるの結果の如何は、彼等自身の國の現狀を看よ。是果して民衆の幸福なるべきか。更に看よ、日本領有以來の臺灣が、如何に改善せられ、如何に新面目を開きたるかを。之を支那腐敗時代に比することは、眞に隔世の感を懷くものあらん。人は必ずしも政治のみを以て生命とするものにあらず、彼等が所謂公權の空名を得るよりも、現實生活に於て、より多くのものを得たる臺灣住民は、十分の歡喜と安堵とを感じ居るを知らずや。第二に至りては全然誣言なり。凡そ臺灣に居住するものは、其の日本人なると、外人なると、はた在來居住せる支那人なるとを問はず、皆同一の法律に依りて其生命財産權利を保障せられつゝあり、吾人之に向つて煩はしくも蛇足の辯明を添ふるの必要を認めず。第三差別待遇云々に至りては、言語を殊にし、習慣を殊にし、未だ全く本國に同化し得ざる民族に對し、多少の差別的取扱を爲すの餘儀なきは、如何なる國の植民地政策にも免れざる所にして、而も是れ當然の政策なりと認めらる。若し全然本國人同樣の教育を受け、本國人同樣の社會的待遇を受けんと欲せば、只須からく本國に同化し、本國人同樣の知徳を養ふべきのみ。

支那が日本を敵視するは、日本に對する恐怖の結果なりと自狀す。彼等は何故に同一の筆法を以て英佛米の諸國を排せざるや。佛國の安南に於けるは、我が日本の朝鮮に於けると何の差異ありや。英國の香港に於ける地位は、支那は何等の壓迫を感ぜざるや。津浦鐵道、滬寧鐵道を領有するの國は、果して支那内部に政治的經濟的の發展を遂げざるか。其他支那に於て租借地を有するもの、いづれか支那の恐怖にあらざる。而して獨り日本のみを恐るゝ、虎の如き、吾人殆ど其の故を解する能はず。

貯金の方法(四)

野坂總督府事務官談

而して集金人は月々其の手持の集金票に就き檢査を受くるのみならず集金したるときは契約者の所持する貯金通帳に領收の月日を記入し且領收を證する印紙樣のものを貼用せざるべからず此印紙樣のものは銀行に於いて調製し一日五十枚を限度として取扱店より集金人に交付するものにして此選び擔に就ても嚴重取締を施し猶集金人の監督を置き常に集金者其の他に就き集金人の擧動を監視せしめ以て不正行爲を未然に防遏せり斯くして集金人が月末に於て月初に受取りたる集金票全部を取扱店に提出したるときは受持の集金を完了したるものなり

(三)貯金の拂戻 毎月積立てたる貯金は契約者の死亡火災其他不可抗力に因る災害の場合に於ては其貯金額に年三分の利子を附し進むで之が拂戻しを爲すと雖も其他にありては已むを得ざる場合の外途中引出を許さず假令已むを得ざる事情に基き引出を認むる場合に於ても利子を附せず又契約期間内に拂込を中止するものあるときは滿期に至り其の既に拂込を爲したる金額のみの拂戻しを爲し之に利子を附せざるは勿論なりとす若し是等途中の引出又は中止に利子を附せんか貯金者に於て聊かにても都合惡しくなりしときは忽ち拂戻しを請求し折角の貯金も何等の効力を爲さずして貯蓄の目的を貫徹することも能はざる可し故に此の如き制裁は貯金者の爲めに最も必要なりとす

(四)名寄貸金 名寄貸金とは貯金契約者か契約期間の二分の一以内の約束を違へず毎月貯金を繼續拂込みたる者に對し滿期給付金を引當てとして其の範圍内に於て必要額を又貯金契約を完全に履行したる者が更に貯金契約を爲す場合に於て必要なる時は最初の契約給付金額までを信用に依り貸るを謂ふ此の貸金の利子は千圓以上は年九分夫れ以下は年一割二分(月一分)にして毎月の貯金掛込金と同時に集金するものなり但し集金を爲さざる貯金者に對しては此の貸付をなさず償還は勿論滿期給付金を以て相殺するものなるも借用人の都合に依りては何時にても返還することを得此の方法は貯金者の最も便利とする處にして恰も低利濟明しの金員を借入れたると等しく不知不識の間に滿期に到達して借入金を皆濟することゝ爲る彼の小商工業者の如き薄資者は此の方法に依り意外の資金を使用することを得て業務の擴張を測し得べく而も銀行に於ては資金運轉の手段たるにも止らず貯金の資源を涵養するものにして一擧兩得の方法なりと云ふべし

◇……錬膽錄……◇

新田義貞

三笑生

◇南朝の柱梁として、楠公と並び稱せらる、新田義貞も亦心膽をその根本に養つた。かくて生死崖頭に立つて、よく不動の信念を把持したのであつた。

◇彼が曾て士卒を戒めた語がある。曰く『運命は天然なれば聊かも身を惜むべからず。當家の日記には、進むとも死せず、退くとも生きず、生死必ず其の時ありと云へり。就ては公私の理遁れ難き時は、萬人の面に立ちて、其の名を後代に顯はし、面目を子孫に施さんと思ふべし。進むとも死せずとは云へばとて、若し理に背いて進まんに於ては、何の益かあらむ。尤も身命に如くものはなし、いかでかこれを徒らにせん、能く之を愼むべし』と。

◇進むとも死せざる時は死せず、退くとも死すべき時は死なねばならぬ。死生共に天に在りとして、挺身猛進するといふは、まさに武人としての覺悟でなければならない。義貞の義勇は、實に此の死生觀から出たものであつたことが知られる。

◇彼が『若し理に背いて進まんは死に於て何の益かあらん、尤も身命に如くはなし、いかでかこれを徒らにせん』と云へるに至つては、彼が堅き信念の上に、よく理義を辨へて、惑はざる智者の徳を具へ、死すべき時に臨んでは、立派に死するが、死せずして大いに爲すべきに當りては、一身を徒らにせずして、大いに生きると云ふ堅忍の志氣を抱いて居つたことが知られる。

◇藤島の戰ひに、流矢を受け、三十八歳の壯齡、尚ほ大いに生きねばならなかつた身を、自刎して終つたのは、彼の所謂運命の天然に任する所で、亦已むを得なかつたが、彼は實に斯うした穩健な修養に依つて、武士的腹底に據る所を見出し、かくて終始よく王事に竭したのであつた。

東宮加冠式日謹賦　小坂 韓準錫

瑞雲瑞旭繞宮城。西海歡呼萬歲聲。顧我賤陋何報答。願奏唯欲捧丹誠。

江上惜春　服部 江南

江城春去水悠々。浣女羅裙杜若洲。惆悵人生流轉速。岸花殘處竪孤舟。

貯蓄心を喚起して

三年 貯蓄主義

商品月賦 債券月賦 (營業案內進呈)

商品月賦は毎月貳圓五十錢掛三年間九拾圓 利息拾圓中途契約金額貸附の便法あり

債券月賦は毎月貳圓七拾錢掛其他數種有拂込金拾圓に達したとき抽籤の權利を得らる

社會の優勝者

販賣 京城府若草町百六番地 報國公債株式會社朝鮮支部 長電話三千拾壹番 振替口座京城六五五九番

肉筆 英習字 通信教授

手本は肉筆及肉筆の眞蹟▼講義は平易明快を極めて他に類なく▼英習字自動上達器英習字練習板使用の教授法に依り六ヶ月間に習得し得る事を本會獨特保證す▲字體は最新流行商業體

無代進呈 美しい英習字を描きたい方へ規則書見本は申込次第進呈す 込二錢切手二枚封入申込者には英習字熟達法一冊及肉筆の書二葉を添へて無代進呈す

東京市牛込區 大日本英習字研究會

特別賣出し スキフト新製一割五分乃至半額割引 御試用希望者はハガキで申込まるゝと實物入製品(廿餘種)目錄、定價表、說明書に特別割引規定を添へて送呈します

スキフト萬年筆金ペン販賣、修理、交換 電話二七九三番 振替京城四二九二番 上本商會支店 京城太平通二丁目(李王家美術工場前)

忽再版 國民日本歷史

三上參次 芳賀矢一 幸田成行 吉田東伍 四文學博士鑑選 懸賞新體國史の大成功 高橋俊乘先生著

四六判 極美 金 製 紙 數 八百 頁

大懸賞當選の本書一度出づるや一般家庭の絶好讀物として、各學校に於ける歷史教育唯一の參考書として貴ばるゝが如き好評を博し、今や新時代の日本外史と推されて翕然として讀書界の大歡迎を受け國史教育普及の必要を叫ばるゝ今日一般國民特に青年の絶好讀物として大成功と云ふべし國讀本として國民何れも一本を座右に備へん事を望む

東京 神田 富山房(振替五〇一) 發賣 全國書店

松崎天民先生序 青柳有美先生序 横山ゆ□先生著

新思潮の生める大正の三悲劇 呪咀の戀

熱狂的歡迎を受け人氣潮が如き本書の内容を見よ

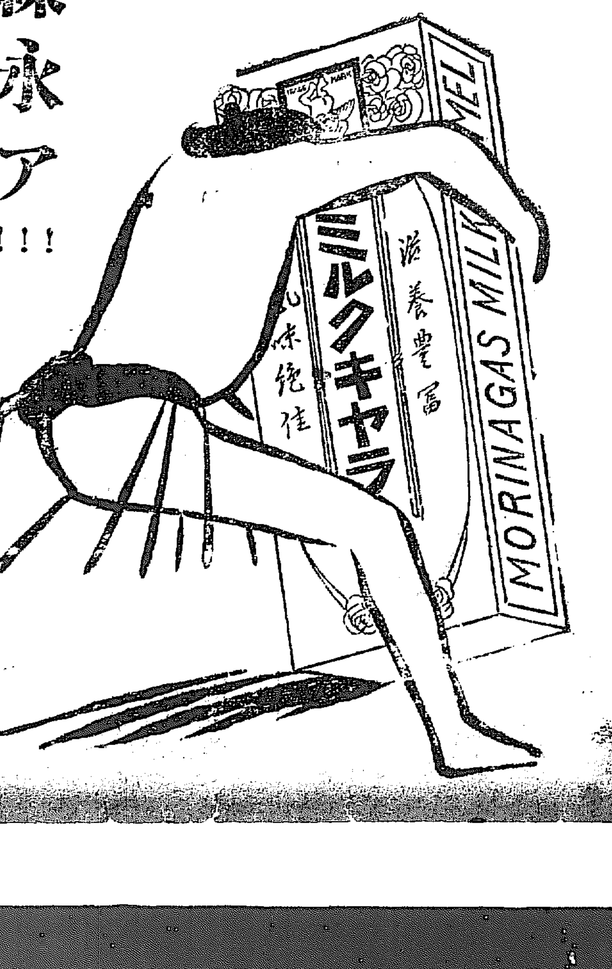
四六版 洋裝ふりがな附 本文二百餘頁 美本 紙石版三色刷

面白き快著に誰でも容易く讀めます是非一度御一讀あれ此際に限り大割引特價九十五錢 後金希望者はハガキに此新聞名を書いて申込めば代金引換送料實費で送本す

◎發行所(東京芝區田村町七番地 振替東京四五七二五番) 電芝三五五五 新報社出版部

◇大賣捌所◇東京堂◇至誠堂 全國書店にあり品切の際は發行所又は大賣捌所へ御注文あれ

嗚呼!!戀? 嗚呼!!戀?



甲鐵のポートワイン

安心シテ召上レ!!!

今ヤ雨後ノ筍ノ如ク實質ノ備ハラザル葡萄酒簇出シ愛飮家ハ其撰擇ニ困惑スル此際純良美味ニシテ滋養ニ富ム眞ノ葡萄酒ハ此ノ甲鐵アルノミ

釀造元 甲洲サドヤ 朝鮮總代理店 福榮商會

藥品の眞價は實効にあり

脚氣病 特効藥 ベリスチン

脚氣病に就き未だ特効藥なきを恨事させるや久し茲に東西の諸學說に基き多年研究の結果少量の内服にて奏効顯著なる製品を提供せり切に大方國手の御採用を懇請す

▲粉末 ▲丸劑 ▲注射液あり

發賣元 大阪市東區道修町三丁目 田邊五兵衛 大阪市東區平野町二丁目 岸田市兵衛 東京市日本橋區本町四丁目 田邊元三郎

笹山章著 ウツボ屋書店發行

新案獨學 イロハ辭典付 鮮語自在

ポケット形 二百頁 定價五十錢 送料貳錢

好評 再版出來

著者は鮮語獨習に關し從來の所謂獨學書類と甚だ異なる新案の文字を發せり 上欄にはイロハ辭典及朝鮮諺名を付す 本文には語文、組立、文法、數字、テニヲハ、語格、會話、日用單語(略語)對話、作文等に關する一切を網羅せり

發賣元 京城日報社代理部 振替京城三〇〇番

醇良清酒 釀造元 榮谷合名會社

特約店 京城岡崎町 嶋屋總本店 電話九〇三番

◇聯合國意見一致 更に強制手段を執らん

聯合國委員は若獨逸講和委員にして現在の如く不遜の態度を持續するに於ては十五日間の猶豫期間經過後に於て更に峻嚴なる強制手段を加ふ可との意見一致し居れり(巴里電報)

◇三首腦の會合

エコード、パリー紙は曰くクレマンソー、ロイド ジョージ、ウイルソン氏は佛國の安全を更に保障し講和條約を擁護する目的を以て英佛米三國間に締結さる可き條約を完成する爲會合せりと(巴里電報)

◇獨讓歩拒絶か ランツアウ伯の長廣舌

七日の講和會議にてランツアウ伯の爲せる長廣舌は激烈なる語を以て協商者は共に絶對平等の位置に在る事を暗示し列席者に敵對印象を與へたり右演説中議長クレマンソー氏は終始嘲きの微笑を湛へて傾聽しウイルソン氏は一語をも洩さず熱心にノートを執りロイドジョージ氏は鼻眼鏡の黒き紐を弄しつゝ耳を傾け居たり伯の聲調は不快なるものに非ざるも單調にして變化無かりき而して其要點は講和條約の讓歩を拒絶せんとするものたり當日のラ伯演説は聯合國と敵國との意見の間隔遠きを示せり(巴里電報)

◇佛安全保障 英米協約締結發表

米國政府公報委員は佛國が自ら挑戰せずして獨逸によりて攻撃せらるゝ場合佛國を援助すべき協約英米兩國間に締結せられたる旨公表せり(紐育電報)

◇對奧條約作製著手

(巴里特約員發電)四大國會議は墺國との條約作製に著手す可く條約作製委員に之が準備を命ぜり同國の境界は該條約作製委員總て責任を以て決定し或る一部にては獨逸の境界設定と同樣なる可し

◇伊紙と委任問題

(巴里特約員發電)伊國諸新聞は伊國がトウゴウランド(獨領西亞弗利加)の委任統治權を與へられざりしに就き失望せり

◇獨首相聯國攻撃

(巴里特約員發電)獨逸首相が國民議會に於る講和委員會にて發表せる所に據ればヴエルサイユに於ける獨逸全權委員は聯合國提出の條件に對し反對提議を爲し聯合國講和委員と口頭にて講和條件の審議を爲す權利を要求す可き旨訓令されたりと尚獨首相は聯合國は一に獨逸を全滅せしめんとし我的制裁を執れりと攻撃せり

◇阿富汗士坦擾亂

シムラ(印度北部の市)發公報に據るに阿富汗士坦の形勢は急激に變化し軍隊間に不平不滿の氣勢充溢し新王アマヌラは叛亂勃發を虞れ印度侵入を企て頻に軍隊に虚報を放ちつゝあり阿富汗士坦及び英國軍は迅速に行進し次第に接近しつゝあり(東京特電)

◇オムスク政府統治權

駐米露國大使發表に據ればオムスク政府は將來統治權を憲法會議に移す事となる可く右は過激派掃蕩の後實行の意ありと(桑港電報)

◇西鐵第一期支出

西伯利鐵道共同管理聯合委員會は第一期支出として二千萬弗、留にて六億を支出するに決せり該資金は鐵道材料購入費にして最近三箇月は日本に於て材料を購入すべく之等の爲特別委員四名任命されたり(加奈陀電報)

◇江監督辭職不許

支那留學生監督江庸氏の辭表に對し北京政府は努めて學生を指導す可く辭職は聽許せざる旨返電せり(北京電報)

◇錢內閣留任發表

十三日國務會議は各省に通電し當分現內閣居据りに決せる旨聲明せり尚右電報に據れば交通教育兩總長は辭表提出の儘とし他に後繼者を定めざる意味も含み居る可しと解せらる(北京電報)

◇唐朱辭職聲明

十三日の上海和平會議には唐紹儀氏の提案八箇條あり其第五條に中華民國六年六月國會解散の命令は之を取消す可しと明言しありたるが爲め同條項に就き唐氏と朱啓鈐氏との間に辯論久しきに亘りしが竟に解決せず兩氏共最早辭職の他途無しと盤言して散會し唐、朱兩氏は夫れ〲北京及び廣東軍政府に對し辭職を申し出で唐紹儀氏は既に國會案にて衝突の爲め辭職せりと聲明したるが朱啓鈐氏も亦近く之を聲明す可し(上海電報)

◇對支產業援助 新銀行組合創設計畫

米國政府對聯合國外務省との間に商議せし支那の產業及び財政を援助す可き新銀行組合創設の計畫は十二日巴里に開催さるゝ集會に於て討議さる可し右集會には日、英、佛、米等の各代表參列す可く該新組合の主要目的は支那鐵道に資本を給し產業を獎勵せんとするにあり(巴里電報)

◇支那關稅改正承認

支那關稅改正の件に關し上海にて會議を重ねつゝありしが愈々決定したる旨の通牒に接し我政府は去る十日支那政府に對し承認の通告を發せり(東京特電)

◇西伯利駐屯師團交代期

第五師團は第三師團と交代し來る七月上旬西伯利に派遣さるゝ事に內定せるが御裁可あり次第發表さるべく師團司令部は目下準備に多忙なり(下關特電)

◇遞信局新設

遞信省は今回官制を改正し名古屋及び廣島に遞信局を新設し各府縣に一等郵便局を指定せり(東京電報)

◎戰時會社變轉 轉業漸く熾也

時局以來海外製品の輸入杜絶に因る我國製品の輸出增加は勢ひ平時に於て生產費及び技術の關係等に依り與り得ざりし事業及び不振の狀態に在りたる製鐵、製鋼、造船、染料及び化學工業を始め各種工業は鬱然として勃興し其生產能力亦異常の增進を示し而も其大部分は內地の需用を充足し或物は既に海外輸出を爲すの域に達したる時に際し突如として休戰の飛報を受け

▲恐怖的狀態 を呈したり併し乍ら休戰が我工業界に事實如何なる徑路如何なる程度の打撃を與ふ可きかは此の場合容易に見定め付かざる所にして現に東京附近の染料工場の如きは三月下旬頃より再び盛んに操業を爲し居れる模樣あり這は果して所謂戰後景氣發生の端緒なるや否やは

▲大なる疑問 の存する所なりと雖も要するに一二月頃の恐怖は其實價に非ざるを證明するに足れり更に製鐵事業を見るに戰局の終熄に伴ひ鐵價は急轉直下的の暴落を現はしたるが是れ亦其恐怖の觀聊か度に過ぐるの觀なきに非ざれど一面より察すれば我製鐵事業の弱點短所を露呈せるものと謂ひ得べく若し今日の狀態を以て推移するに於ては再び擡頭の機會無からんとする事情の存せる事とて兎も角計畫を中止し又既に

▲事業を開始 せる會社にして製鐵事業を中止せるも尠からず聞く所に依れば亞鉛電解會社の再製銑鐵製造事業、東京電氣製鐵に於る電氣製鐵事業、帝國製鐵の再製銑鐵製造及び東京銑鐵の再製銑鐵製造事業は一時中止する方針を採ると共に東京銑鐵は鑄物型物事業、帝國製鐵も鑄物事業に轉じ又日本鋼鐵の如きも從來砂鐵銑鐵の製造販賣を主なる目的とせしが开は到底引合ざる爲め工場を附設して鑄物及び型物を製造する方針を採るに至れり而して造船業就中戰時中木造船建造を目的とせる造船所は今や殆んど廢業中止の狀態に陷り中には大阪造船所の如く

▲建造に轉業 せんと計畫せるもの或は帆船、艀船等の建造に轉業せんと目論見を立て居るものあり要するに我工業界は戰爭なる一大原因に依り異常の活躍を爲したるは爭ふ可らざる事實なると共に其大原因の消滅せる限り又た打撃の甚太なるは當然の結果たるか一面此の戰爭中相當の實力を築き上げたるもの尠からざるを以て結局平和克復後絶對的

▲存立の見込 なき事業は漸次淘汰を受るが故に資力乏しきもの及び其事業の性質が他の事業に轉業するに何等の價値と便宜を有せざるものは空しく資本を消滅せしむる外なきも相當の資力を有し且つ他の事業に轉業し得る性質を有する者は漸次轉業せんとする機運に向ひ居れり(東京)

◎獨軍實力無し 新軍約三十萬

▲志願兵制度 其筋の調査に據れば獨軍はライン右岸に撤退後暫時復員に著手し現在に於ては最若年兵の若干を衛戍地に止むる外西方中立地帶を四個に分轄し之に十師團を配置して聯合軍と相對し東方に於ては波蘭軍、南軍はボーゼン州に於て波蘭軍と北軍は東普魯西に於て露國過激派軍と相對峙し本營をコールベルグに置きヒンデンブルグ元帥之を統轄せるが如くなるも其詳細は明瞭ならず又一方に於ては革命の直後國內の秩序維持に當らしむる爲め志願兵に依る警察隊を組織し凡つ一般徵兵法を廢して志願兵制度と爲し傭兵を召募せしが最近國內及び國境守備の爲め編成中の軍隊は其數約三十萬に達せりと

▲最高統帥權 革命以來獨逸軍の最高統帥權は政府の主腦部たる國民委員の掌裏に歸し陸軍大臣は國民委員の委任に依り職に其事務を處理しつゝありしも其後政體會議に於て暫定憲法制定せられ其結果として大統領新設せられ最高統帥權は大統領の大權に屬することゝなれり

▲兵卒委員會 革命勃發と同時に野戰軍內の革命的氣風を緩和する目的を以て聯隊、獨立大隊、軍司令部、大衛戍地に夫れ〲兵卒委員會設立せられ爾來今日に至るまで同委員會の權限は多少の變遷を經たるも現在に於ては概して左の權能を有するが如し

一、各隊指揮官が政府に反抗するが如き行爲に在りては監督す

二、教育指揮及び兵力の使用に關する純然たる軍事上の命令に干涉せざるも給與、休暇、軍紀等兵卒の待遇問題に關しては各該指揮官の動作に干與し且つ之が責任を有す

三、指揮官が部下の信任を有するや否やに就き直上指揮官に通報し必要ある場合には指揮官の免職を請求す

四、軍事に關する一切の訴訟事件を處理す

獨逸軍の現狀右の如くなれば對獨講和條件が假りに苛酷なりとするも獨逸としては今後聯合國側の要求を拒否し兵力を以て大勢を推移せしむる實力を有せずと(東京)

◎坑木供給拒絶無根 石炭値上に關聯せる臆測

滿鐵が朝鮮に對し石炭の供給を減じ且つ價格の引上を爲したるより右に對する報復手段として總督府にては滿鐵に對し從來營林廠より供給し來りたる坑木を今後一切其の需要に應ぜざる旨の通告を發し之が爲め滿鐵にて右緩和方交涉の爲め百濟用度課長を急派せりとの事なるが右に就き總督府當局は語りて曰く總督府は寧ろ此の問題を朝鮮が石炭に關する供給を絶り或は拒絶せずやとの滿鐵の疑心暗鬼的想像に歸られたる結果と見做し勿論重大視したる事もなく從來供給し來りたる行懸り及び

▲現在の事情 に見て供給を拒絶すべき考へを有し居らず元來撫順炭坑に對する坑木供給に就ては最初其交涉を受けたる際朝鮮の森林產物特別處分令第一條第三項に規定せる(鑛業の爲め必要なるときは朝鮮に於ける國有森林の賣り拂ひの契約を爲し得る事)であるに鑑みて此の交涉に應ずる事となり今日に至りたる次第なり而して或者は此際森林產物處分令は朝鮮內に於てこそ効力あるも滿洲に及ぼすは不可なり之を

▲立法の精神 より考察するも朝鮮の利益を本位として同法令は制定せられたるものなれば滿洲に供給するの餘力あらば之れを朝鮮の需要に充つるを以て適法なりとせる議論もありたるが當局にては之は密接なる鮮滿の關係を無視し國境江一線を畫して法規の解釋內に躊躇する事を好まず大局より打算して供給を爲しつゝありしなり尤も營林廠の事業と雖も滿洲の爲めに爲せるに非ず又伐採能力に於ても限りある事なれば無制限に撫順の

▲炭坑の需要 を引受くる事能はざる處なれば數量の制限は當然の事と云ふが如きは蓋し當然の事と云はざる可からず今回も契約改訂期に際したれば滿鐵の申出に對しては前年同樣の態度を採り石炭問題ありしが爲に毫も變改する事なし將來の事は斷言し難きも今日の如き狹量なる態度に出づる事を欲せざるなり」

◎本年漁業狀況 內地冷藏船來らず

朝鮮沿岸漁業中屈指の一西海岸の石首魚漁業は例年四月を振り出しに全南蝟島より始まり次いで五月上旬黃海道延平島に移り此處よりて魚族を追ふて平北沿岸に渡るを常とせるが最近蝟島を引上げ仁川に來り延平島出漁の準備中なる漁者の談に依れば本年蝟島の石首魚漁業は例年に無く稀有の豐漁なるも內地不景氣の影響にや例年盛んに入込み來りし冷藏船も本年は頓に其影を潛め一向來らざると又沿岸各地より來る仲買船も地方經濟界の影響を受けしにや資金の調達不可能にて少しも入り込み來らざるため蝟島出漁者は孰れも大打撃を蒙り時價千圓位の漁獲ありながら奈何とも處分の方法なく折角の漁獲も遂に骨折損に歸したる憾みあり又本年は到る所鮮人漁夫の雇入れに頗る困難にして給與の要額も增大し其の共に苦痛とする所なりと左れど最近延平島より歸來せる人の談に依れば漁況は同島に入りたる同島此頃の景氣は素晴しきものに殷賑を極め居れりと

椎尾師講演會

宗教大學ノ授文學博士椎尾辨匡師今回京城淨土宗開教院創立二十年記念法要修行の爲め來城せられたるを機とし下名主催となり左記に依り一場の講演を請ふ事となりたるを以て奮つて來聽あらん事を希望す

時日 五月十九日午後四時二十分

場所 南山町京城高等女學校講堂

演題 未定

主催 朝鮮教育研究會 朝鮮新聞社 京城日報社

◎上野博士入京

東京帝大農科大學教授農學博士上野英三郎氏は朝鮮に於ける水利灌漑事業調査の爲め十四日夜入城朝鮮ホテルに投宿せるが兩三日滯城の上地方に於ける水利業視察の途に就くべしと

◎野手海事課長赴任

遞信省海事課長に榮轉せる野手耐氏は十五日赴任の途に就けり(釜山特電)

◎齋藤朝紡專務踏查

朝鮮紡織會社專務齋藤吉十郎氏一行は木浦より十五日朝來釜同社工場豫定地なる釜山鎭に赴き山技師の調査に係る報告を聞き實地の踏查を爲せり尚同夜東萊にて一行の爲め有志側より歡迎會を催せり(釜山特電)

人事消息

▲本木房吉氏(辯護士) 十五日入城十六日出城

◎社債賣出未定

今回不二興業會社が全羅北道沃溝郡千潟地開墾資金として發行し朝鮮殖產銀行にて引受けたる社債五十萬圓は金融界の關係上殖產銀行に於て之を市場に賣出すや否や未だ決定せざるなり

◎牛獸停止區域

流行性口蹄疫豫防のため本年二月府令二十二號に依る牛獸類の出入往來停止區域はその後屢々改正されたるが現在停止中の區域は咸鏡北道平安北道黃海道の三道なりと

◎警報信號所設置

遞信局にては黃海道長淵郡海安面夢金浦里に暴風警報信號所を設置し五月二十日より信號を揭揚すべき旨十六日告示さるべし

◎立神丸初航載貨

七日清津港を發して敦賀に往復したる朝鮮郵船會社の日本海橫斷航路立神丸(二千五百噸)の初航貨物は往航九百餘噸復航百餘噸合計一千二十噸に過ぎず極めて寂寥なりしと

◎井口大將入城

陸軍大將井口省吾氏は北支並に西伯利視察の途十五日夜入城龍山なる軍司令官々舍に投宿せり十六日官邸に長谷川總督を訪問午後十一時十分龍山發列車にて北行すべし

◎兩法官歸城

司法官會議參列のため東上中なりし渡邊高等法院長、城戶覆審法院長は十五日午後七時五十分著にて歸城せり

烏瞰錄

比律賓で最も社會的勢力を有する階級は米國人と思ひきや、實は西班牙人と土人との混血兒である▲比島には古くから加特利教が行はれて居るが之が布教の爲めに西班牙から澤山の僧侶が入込んで來た▲此僧侶は戒律堅固な加特利教に屬する者で有るから、女杯は振向いて見ようにもないが、實際は來る加特利僧も〲皆十人の女に手を着けて子供を生ませる▲所が表面上戒律嚴重な加特利僧のことて、死んだ後に遺產を繼承すべき女房が有るでなし、遺族が有る譯でないから、其遺產はソックリ十人の女に生ませた子供の物となる▲そこで此混血兒は一躍して島內一流の財產家となり、從つて其勢力も隆々たるものが有る▲殊に僧侶の事とて、子供の教育には注意するから其混血兒は單に物質的に富めるのみならず精神的にも優秀なものと成る▲此の如き事實が茲に三百年間絶えず繰返され、此の混血兒の數も今日に及びては全島人口の一割を占むるに至り、比律賓の社會的中堅は此一味に依りて形づくらるゝ事と成つた▲比島將來の問題も此一味に依りて叫ばれ、此一味に依りて收獲される事だらうだから米國も却々油斷はならぬ

時下新綠之候各位益々御清穆奉賀候陳者小生等渡鮮以來永々共多人の知遇を辱うし御厚誼を蒙り候處今回一家を擧げて郷里廣島縣三原に歸省可致就ては一々拜趨御暇乞可仕筈に候得共匆々の際其の意を不得失禮仕候然るに昨夜出發に際しては御多忙中態々御見送りを忝し御芳情の段奉深謝候乍略儀以紙上御厚禮申上候尤も小生三原に隱居致す所には無之當地に關係の事も殘しあり又滿洲に投資の事業も一二有之候間時々參上拜顏可致候今後共不相變御厚誼の程願上候 敬具

五月十五日 唐川立造 同 まさ子

好評嘖々 忽四十版 手紙文庫

▼どんな手紙でも頭を痛めず即座に書ける 苦心の大著 今回完成せる新體美文手紙文庫は有名なる美文家川上眉山先生高足岩田鳴山先生が半生の心血を傾倒して完成せし苦心の大著にして全卷を春、夏、秋、冬、雜の五卷に別ち各卷を更に月別とし其月々に必要な用語、類句、文例を漏れなく集め其數實に一千三百餘種に達し悲しい手紙に嬉しい手紙に祝祭の手紙、感想文に時候文、其他婚禮、祝賀、弔慰、見舞、通知、誘引、照會、依頼、謝禮、催促、招待、訪問、兵事、學事、賃借、暗合文、に到る迄本文庫さへあれば頭を痛めず即座に思ふ通りの手紙が自由自在に書き得らるる事他の書翰文の五倍も十倍も役に立つのが本文庫の無二の特色である▼本書は三六版六百頁の大冊にて定價一圓五十錢の處今回增補完成記念の爲め破格の特價一圓十錢に割引す希望者は賣切れぬ內に新聞名記入注文あれ代金は前金注文は送料共一圓十八錢後金引換郵便で送る
◆東京市青山南町六ノ一三五 振替東京四八六 手紙文庫刊行會
◎此際先著注文者五百名に机上便覽日用書翰文用語集一冊無代添付進呈

家屋競賣入札
一、場所 仁川敷島遊廓內大黑樓前二階建木造瓦葺建具付疊參棟
右ハ來ル五月二十日午後一時開札ス但シ保證金壹棟ニ付金貳百圓ヲ要ス開札ハ現場
仁川 共榮組合

購買入札
油紙大四千枚外三點
右詳細は本日の本府官報を見よ
大正八年五月十六日 朝鮮總督府

廣告
株式名義書換停止
當會社定款第十八條の規定に基き株主總會終了の日迄株式名義書換を停止す
大正八年五月十三日 群山府 鮮南勸業株式會社
株主各位

最新刊
日蓮聖人 笹川臨風著 價四貳○ 送廿四錢
三法色讀史
官史學第貳卷 [illegible]
人及事業能率心理 上野陽一 一、三○
工場より觀たる日本の勞動生活 一、五○
歐米工業能率 [illegible] 一、○○
マーシャール經濟學原理 定價六圓五十錢 送料二十四錢
幾何學的に描く草秋山武太郎 一、二○
佛人 [illegible]
丹子 [illegible] 一、○○
未來は我等のもの 井口孝親 一、○○
尋常小學國語讀本の說明 辰之著 一年 定價壹圓二十錢 送料十二
非凡人 [illegible] 一、八○
大阪屋號 振替京城 電話 [illegible]

最新刊 大阪京都問屋便覽
增補三版 東京問屋便覽
◎出たり商家無二の重寶書!
◆問屋製造家の所在一目瞭然
ポケット形各冊一圓五十錢 本書は各都市に於ける各種商品製造家及問屋業者を網羅せるもの[illegible]
發行所 東京銀座南紺屋町十九番地 振替東京四七五 電話京橋二五三 廣報通信社

有價證券賣買一般信託業
京城府櫻井町一丁目三十六番地
新田耕市商店
電話(長)五七〇番 一八八一番

諸機械土木建築用鑄物一切
▲多少に不拘御用命願上候
京城龍山京町電話長五二四番
中桐鑄工場 中桐岩吉

御携帶に至極お便利な極小形の
銀製腕卷時計
多數御註文の方には安價なる上に尙一層御勉强致します
御用は電話四七一番へ願ます
村木時計舖
京城本町 電話四七一番 振替京城三一九〇番

京長乘合自動車開始廣告
今般五月一日より京城と湖院間乘合自動車營業を開始致候間旅客諸位は速く愛顧なされん事を希望す
黃金町壹丁目壹百八拾壹番地
京長自動車商會 電話二八八九 告白

久振りで入城した井口將軍（向つて左は出迎への宇都宮軍司令官）

○三年振りの來鮮

『京城に一泊して長谷川總督に鳥渡敬意を表して置きたい……』

微笑を湛へて＝井口大將の談話

軍事參議官井口陸軍大將は北支那並に西伯利視察の途次、十五日夜久方振りに入城、龍山なる軍司令官々舍に投じた。途中水原驛まで出迎へるこ滿面に笑を湛へながら愉快氣に語る『三年振りにやつて來るこ沿道の山河も變つたやうな氣がするね……』こ四邊の山を見渡しながら』三年こ云うても俺の後が秋山で、其後が松川から今の宇都宮大將ぢや、もう軍司令官は四人目ぢやからの……』こ感慨に堪へぬらしく『今度は奉天から北京、天津、青島に出て、奉天に還り大連を見て哈爾賓に往き、それから汽車で

▽浦鹽に廻 つて歸鮮へ來る心算ぢやが、京城には一泊し長谷川總督に鳥渡敬意を表して置きたいこ思ふ』大將は今回の騷擾の模樣を記者に質し騷擾の勃發は素より喜ぶべきこにはならざるも朝鮮人が心中に不平を抱懷せるを知り得たのは爲政者の爲めに寧ろ一得なりしならんこて軍隊の出動によりて一段落着きたるを慶びつゝ『講和問題も大分進んだが、獨逸は調印を拒むだらうこ云ふ說がある……戰敗しても

▽其の意氣 は却々盛んだね、それにつけても日本の外交は少々心細い感がする、我々軍人に外交の事は分らないが、も少し突ッ張つて貰ひたいね』こ大將も巴里の空が氣に懸るらしい汽車が永登浦に著するこ松川こ名乘る一家族の人達が出迎へに乘り込んで狹い特別車は滿員こなつたので、一揖して失禮した。將軍は十五日夜一泊、今十六日夜龍山發列車で北に向ふ筈である

○劣等になる壯丁の體

肺病が多い

陸軍省の五月一日調査に依る最近三年間の全國徵兵檢查に於ける壯丁體格は左の如くで年々劣等に傾きつゝある狀態であるまづ大正五年度は甲乙種受檢壯丁

◇千人に 就き七百九人內丁戊種同上二百九十一人、身長（五尺三寸以上の者）三百四十五人體重五尺三寸以上の者一人平均十四貫八百七十五匁、トラホーム患者百六十八人〇六、花柳病患者二十二人、九九、肺及び胸膜の患者二千六百四十九人にして大正六年度には甲乙種受檢壯丁同上六百八十八人丙丁戊種（同上）三百十二人身長（同上）三百五十八人體量（同上）十四貫八百七十七匁、トラホーム患者百六十五人、三六花柳病患者廿四人、六九肺及び

◇胸膜の 患者同上二千八百六十二人、さらば大正七年度に至つては甲乙種受檢壯丁六百八十六人丙丁戊種同上三百十四人身長（同上）三百五十四人體量（同上）十四貫八百四十匁トラホーム患者百五十二人九六花柳病患者廿二人二四、肺及び胸膜の患者同上三千七百卅人こいふ成績である

○光瑞師和蘭から

セレベス島購入の計畫

大谷光瑞師は目下經營中の南洋セレベス島を和蘭政府より購入し無論宗主權は和蘭政府に存ぜしめたるまゝ經營の實權は光瑞師之を掌握して自己獨營の植民地こなし大いに大和民族の南洋發展を企圖すべく之に要する巨額の費用に就ては既に有力なる後援者を有し居れる由にて過般の東上の用向も一面此事にも關聯し居るもの、如しこ

○牛乳騰る

昨日から一合十錢 理由は斯うだ

市內牛乳商組合では十五日から牛乳一合に付一錢五厘上げの十錢こした目下市內に捌ける牛乳は一日

◇約四石 で其七割は子供や病人の營養こして需用されて居るが今牛乳組合に就て値上げ理由こ云ふのを聞くこ斯うである諸物價の騰貴につれて牛の食料枯草こフスマ（麥粉）が殆ご倍以上に騰つたのみでなく乳牛も倍以上になつて一寸した乳牛は一頭千四五百圓もして居る其に飼牛人や配達人の

◇給料も 自然高くなつて居るので何う見積つて見ても此際値上をしなければ立ち行かないので値上を斷行した譯であるが牛乳屋の方ではまだ〳〵苦痛の事があるそれは牛乳瓶一本が戰前五六錢であつたものが今日では十錢にもなつて居る上に一年を通じて一軒で約一萬本の四軒で

◇四萬本 は行方不明こなるから此損害も自然牛乳代に掛けて行かねばならない事こなる倘ほ假りに一軒の得意先で一箇月に三本の瓶を無くしたこ見て瓶代が三十錢之を一日一合即ち一箇月三斗の牛乳代三圓から差引くこ二圓七十錢で牛乳屋の方では一合九錢にしか當らない事こなるから實際は一合に付き五厘の値上であるこ

○仁川取引所事件

火の手益々擴大

理事者の外仲買七名 十四日突然拘引さる

仁川取引所の理事者が過般の期米大暴落に際し甚だしき失態あり殊に百數十萬圓の大穴を開けた事は曾て本紙に詳報した通りである、然も此の期米界未曾有の大事件が

▽刑事問題 を惹起せずして止むべしこは何人も思はざる所であり且つ從來仁川取引所仲買人の大部分が常に客筋に對し不正行爲を敢てして不當利得を獲つゝあつた事は公然の事實だから何れは嚴正なる司法權の活動が彼等に向つて下るべしこは消息通の間に信ぜられてゐたのである果然

▽四月上旬 より漸次醜漢の拘引を見るに至り十四日までにその數十三人の多きに達してゐる事件の內容は豫審中に屬する事こて遺憾乍ら詳報の自由を有せぬが要するに不正漢の收監は積惡の酬いこ云ふべくその風殺し的に處分を受けんこしつゝあるは理の當然こ云ふ人がある一例を擧ぐれば今回の大失態の暴露こなつた百數十萬圓の

▽無證據金 による賣買の如き本紙の夙に報じた如く取引所の社長飯田茂登雄取締役堀田貞次郎配人支伴義敏等こ賣方に屬する荒木助太郎松太郎その他の仲買人この間に利害共通の了解を以てやつた事に相違ないのである

▽拘引者の 名を擧ぐれば四月上旬に社長の飯田茂登雄こ仲買人の荒木助太郎が筆頭こなつてゐる、續いて取締役にして仁川の有力者堀田貞次郎支配人伴義敏並にズット前に取引所にゐた島潟米にも及んだのであつて以上は先月下旬郷津檢事の下仁後

▽豫審に移 つてゐる、唯右の中飯田は獄中チブスに罹つて殆んご仙界せんこし又伴は肺病に臥したり

○衞生上の大問題

我國民の殆んど全部が寄生虫に冒されて居る

內務省衞生局では豫て寄生蟲撲滅法を考究中であつたが今度愈々施行する事になつた、衞生局長は曰く『的確ではないが糞便に對して

◇九十人は 蛔蟲を有し又百人に對して四十八人は十二支腸蟲を有し居るこ云ふ事だ大きく言へば蛔蟲を有せぬ人は殆ご無いこ云つても差支ないがこれは國民衞生上大問題だ、で各府縣の

◇防疫官が 主こなつて其土地の醫師の助力を得、戶各人に就き糞便の檢查を爲し寄生蟲を有する者には治療を勸告し寄生蟲撲滅を計る考へであるが、省からは全國に對して二萬圓の補助費を豫算に取つてあるがこれは

◇大事業だ から到底二萬や五萬の端金では出來つこはない敢て今一月もすれば何處か一府に對して試驗的にやり追々こ各方面に及ぼす積りであるがこれは國民の衞生上非常に大切な調查である（東京）

○京城消防の新威力

破壞用自動車二臺購入

京城常備消防隊にては今回米國マックスウエル式自動車二臺を購入し之れを改造して破壞隊用こなせるが同車は赤塗にして上部に大箱を設け一輛中の重器を積載し得べく車輛は丸護謨を用ひ一時間十七哩の速力を有する恰も軍用自動車に類似せるものなり同車は一臺約三千圓にして一朝火災の際は破壞隊數名は機械こ共に急遽現場に馳せ附け得べく京城消防隊の新威力こ云ふべし

○學校長召集

騷擾以來久しく休校中なりし京城府內中等私立學校中去る十二日以來六校の開校を見るに至りたるが猶未開校に屬するもの十二校の多きに達し而も右は孰れも其の開校時機不明なるが既開校に屬するものも登校人員比較的僅少にして今後の成績も今猝に豫測し難ければ監督官廳は此際特に全部の學校長を召集し訓示並に意見の聽取を必要こし十五日午後二時より京城府廳樓上に各校長を召集したるが本府學務部長府尹兩警察署長等も亦出席したり

○若き女の入水（一）

突然姿を消した高麗丸二等客

それは加藤靜子だつた

二十一歲の青年こ十八歲の娘 秘密を包む養子と養女

九日夜釜山出帆の高麗丸が、十日未明下關蓋井島附近に差蒐つた頃二等室に居る妙齡の美人が突然姿を消して居た。船員や船客が女の行方を探し廻つた時は、女は疾う昔黑い玄界の波に攫はれて居て、記念の品々が彼女の席に遺されて居た。そして三通の遺書に依つて、

◇覺悟の投身 こ云ふここが證明された。遺書は高麗丸船長こ、鄉里の府醫院庶務課森川氏こ、鄉里の川氏への宛て、あつたが、船長や森川氏への遺書には、何等自殺の理由こなるべき事情を記してなかつた、唯覺悟して死ぬ、生前お世話になりましたこ云ふ陳謝の文句が簡單に記されてあるばかりだつた。女は原籍愛知縣愛知郡明村杏掛上高根、當時龍山漢江通四番地川邊方の養女で

◇加藤靜子こ 云ふ十八の娘である事が判つた、其翌日即ち十一日のことである、お婆さんこ若い男が伴れ立つて釜山驛に下車し心配さうに靜子のことを其筋に問ひ合せて居た。二人は龍山から靜子の後を追うて行つたのだつた。お婆さんは靜子の養母に當る人で若い男は市川家の養子で今年二十一になる清水治一であつた。二十一歲の青年こ十八歲の娘

◇養子こ養女 其處に何等の關係が伏在して居なければならない。女が玄界に身を投たこの電報に接したこき、記者は其眞相を確かむべく女の養家たる市川家を訪れた然し主人は鄉里に歸省中であるし養母こ治一は釜山に行つて居るこ云ふここだけで、其他のここは一切判らなかつた。そこで記者は戶口調查簿を繰つて見た。靜子の原籍は前記の通りであるが、治一の原籍は同縣碧海郡高岡村であるから二人は兄妹でないここは明かである。そして

◇男は店員、女 は下女こ云ふ肩書が記されて居た。養子こ養女を何故店員下女こして屆けてあるのだらう？其處に疑問が生ずる。のみならず治一は約二十日前、徵兵檢查の爲めに歸鄉したここ、靜子は四月一日から赤十字社看護婦科生徒こして總督府醫院內の寄宿舍に起臥して居るここが判つた其處にも亦彼の女の死の秘密があるやうに思はれた。

○豹少女を殺す

平安南道安州郡雲谷面宋龍里百二十九番地李鵬得の娘（九）は本月七日午後二時頃雷雨の止んだ後庭に出て草を摘み居たるところ何處よりか一頭の豹現れ突如少女を咬へ去りたるが之を見たる父の李鵬得は大聲擧げて追跡したるに豹は少女を畑中に遺棄し其儘姿を晦ましたり少女は死亡し居たりこ（平壤）

○河野氏母堂葬儀 河野本社廣告部長母堂の葬儀は十五日午後五時自宅出棺妙心寺に於て營まれたるが會葬者多數にて盛儀なりき

◎衣裳の撰び方（四）

織物の善惡と衣裳の美

京城工業專門學校教授　宮田武[illegible]

以上は單に組織で分け易い方法のみを述べたので私は織物の見分方は偏り長くなるので止めることにして次に

◇地合の適否 に就て申上ませう此れは地合が悪い厚いと云ふのでなく織物が組織に織れて居るか、云換れば善く永持するかどうかと云ふ事を見分けるのであります此れには第一、經糸と緯糸との撚り度合、第二、經糸と緯糸の抱合度合り何うと云ふ事を調べるのです。織物は製織上の法則として經糸緯糸の撚方に一定の法があります、けれど製品の價を下げて安く賣らうとする競爭から此れを除外して作つたものは一方に深過ぎます、此れは素人方には一寸見分け悪い不正品であります即ち此等の購入するさ一年もたゝぬ中に擦裂かしたり折切がするのです（一）經・緯糸の

◇太さの比が 其一つ宜しく揃つて居るものは安定なものです。此の比は最も堅實な地合は經糸、四・五乃至四に對し緯糸六から五・五の割合でなければならぬ即ち織物か一反百匁なれば經糸が四十匁乃至四十五匁、緯糸に六十匁から五十五匁を用いて作つたものと云ふ事です此れを簡單に調べるのは地合を見て凡そ其の調和を保て居るがどうかを判斷する外ありません、多くの場合は前に述べた割合から經糸が緯糸よりも太いものです是れは地合を見て居るが悪い

◇夜具布團地 銘仙の或る物（太織）、錦紗等の如き柔かな織物は最も注意せねばなりません又は折しかしますから買ふ時に最も注意して戴く者によくあります。二つ次に組織の抱合と云ふ事を考へればならん、此れは經と緯とが善く適當に抱合て居るかどうかと云換れば緩みか無いかと云ふ事です組織の種類は萬みありますが其の中で平地（經緯一本宛組織したもの）が最も抱合がよいのです其次に綾地で繻子類は一番よくありません然し單に組織ばかりで抱合の善惡を判斷するとは出來ません、織り方にも多くの關係があります、此の抱合の惡いものは直ぐ斑が出來ます。

◇上等の織物 は經緯が高く堅く緊つて居り持ちが惡いので第一の點の撚りが有二本の指にて摘み、片方を左手で堅く保持て右手にて其儘經の方に右の方へ強く引張りながら二三回引くのです、すると經が緯の上を滑つて寄りを生じ緩みが出來ます。甚しいものは穴が出來ます。此等のものは經た多く使つた物、羽二重の上物、繻子物、又は袴地によく見受ける。尚此外に

◇女物夏羽織 やショール地に糸を浮かした織物の好いものがあります。此れは見た眼は美く、みばはよくすうために緯の撚りを弱くして其上へ浮かせるのですから抱合が最も惡くあります此等のは一ケ月も使うとすぐ毛羽が出て來てちぎれてしまひます。

大相撲

夏場所四日目

東京大相撲四日目（十五日）の主なる勝負左の如し（東京特電）

勝		負
小松山	（休み）	射水川
達の矢	（押し切り）	大岬
大の高	（引分）	友の浦
大鳴門	（押し切り）	阿久津川
小牛田山	（掬び投げ）	岩木山
宇都宮	（引き落し）	歐島
黑瀨川	（吊り出し）	御西山
紅葉川	（寄り切り）	一湊
琴ケ浦	（寄り切り）	福柳
源氏山	（踏み切り）	若港
朝潮	（休み）	大の里
大錦	（突き放し）	大戶平
栃木山	（突き落し）	藤の川
中入後		
阿蘇嶽	（下手投げ）	釋迦嶽
白岩	（押し切り）	逆鉾
宮城山	（寄り切り）	大潮
綾川	（ひねり）	清瀨川
駒泉	（捻り）	三杉磯
對馬洋	（寄り倒し）	矢筈山
常の花	（釣れ込み）	千葉崎
大門岩	（押し倒し）	鳳

臨床醫家に告ぐ

アンチベリベリン療法の旗幟朔風に飜りてより八年驕敵却て降使を軍門に送る今に於て誰か逆に與して最愛の兒を殺すものぞ玆に大正七年中注射液のみの需要數を見るも既に五十萬筒を超過するに至れり是豈時運の大勢を事實に反證するものにあらずして何ぞや江湖の諸賢乞ふ其の効益を享くるに於て徒に躊躇逡巡すること勿かれ

說明書送呈す

戶美米端敗府　專賣特許

陸軍一等軍醫正ドクトル 都築甚之助氏發見

かつけ新藥 アンチベリベリン

發賣元 東京市麻布區箪笥町 南信堂藥局

純中ノ純 精中ノ精

猪印のみとり粉

定價 吹出撒布器入金二十錢 立罐入金十錢、金五錢 一ポンド罐入金一圓五十錢

到ル處ニ販賣店アリ

南京虫、蚤 油虫等退治 全滅する事請合

鑑樓問屋

大邱 磯貝商店 電話四一五番 電略イ（又ハ）イソ

京釜線金泉本町 磯貝金泉出張所 主任 平井新太郎

京釜線天安 磯貝天安出張所 主任 神田末吉

湖南線裡里旭町 磯貝裡里出張所 主任 石角岩吉

京元線平康邑內 磯貝平康出張所 主任 佐藤元房

京義線宣川 磯貝宣川出張所 主任 和氣公亂

內科 小兒科 森病院 醫學士 森定吉

京城明治町一丁目江戶川横（電話六三三番） 入院隨意

亡母まさ葬儀の節は遠路御會葬被成下難有奉感謝候混雜中貴名相伺洩れ有之哉も難計不取敢以紙上御禮申上候

男 河野積平
男 河野佐市
親戚一同
友人一同

一月三日生母去月十三日夕十一時迄京龍ノリツキ組合並上營業內五月一日こ成るは一月一日のリツキ商組合こするはイリツキ業の誤に付訂正す

南浦に於ける…移出價格五十五萬四千百四十三圓 輸移入價格百二十八萬一千七百八十一圓…百八十三萬五千九百 目左の如し ▼輸移出▲米八三三七三圓（大豆）二、九六〇（魚類）七九、九四… 二七、食鹽三三四、一八九（砂糖）二、九四八（清酒）三、八七六（麥酒）四、九二六（石油）九六、九〇五（綿糸及打綿）四三二一（金巾）… （石炭）二四五、一八七（機械類）一、〇六三（木材及板）九〇、八九五（爆發物）一、四〇二（小包郵便）一三、〇〇七

◉十五日後場 東京株式 大阪株式 …

京城日報特電 後場不著

みだれ咲き

第二十九回　島山碧波作　森田久講

執事の松川は小間使お春の樣子を眺める。片頬に微笑を浮かべながら。
『お前がさう云ふなら俺だつて鬼や蛇で無いから此の儘默認してやらう』と、松川は殊更に恩を著せるやうに云つた。
『どうぞ左樣遊ばして下さい、其の代り此の御恩返しは屹度二人で致します』
『若い同士のお前達に野暮なことは云ひ度く無いが、斯んなことが他へ洩れては俺の家事不取締と云ふことになるんだ』
『御尤もでございます、今更何共申譯がありませんが、どうぞ二人を不憫と思召て貴郞樣のお胸にお收め置き下さい』
『夫ほどまでに云ふなら』今日は此のまゝにしやうが、兎に角少し云ひ聽かせ度いこともあるから後で牧野君を僕の處に寄越しなさい、夫から二人が飽くまでも添ひ遂げる量見なら、俺から御前樣や奧樣にお願ひ申て二人を添はせて上げるよ』
『あ……難有う御座います』
お春は心から嬉しさうに頭を下げた。
『夫れでは……』
松川執事は其儘物置を出て行かうとした。
『松川さん、一寸お待ち下さい』
慌て起ち上つた牧野は。
『僕等は實際御想像のやうな關係があるのではございません、唯今聽いて居ればお春さんが妙なお答へをしましたが、決してそんな事は無いのです』
『さうか、するとお春と二人で此處で何をして居たんだね』
『實は……？』
牧野は自分の潔白を表明する爲めに悉しい事を打ち明けやうと思つた、が心を鎭めて考へて見ると自分の潔白は表明し得ても、夫れが爲めに累ろ操子姉弟の迷惑は尋常一樣では無い、と氣が付いた牧野は後の言葉を續けずに深い思案に暮れて居たが。
『犧牲にならう、神樣は正しい者が扶けて下さると云ふから、御姉弟のために犧牲になつて一時此場を糊塗して置かう』
假令お春と情交が成立して居るやうに答へても、お春と肉體上の交はりさへ結ばねば俯仰天地に恥ぢまいと思つた。
『實はどうしたんだね』
松川は冷やかな笑を漏して再び牧野の答辯を迫つた。
『面目次第もありません』
考へ深き牧野は漫りに情事が成立して居るやうに答へなかつた、唯だ曖昧の返事をして頭を垂れた。
『惡いやうにはしないから安心をしなさい、俺しは妙に疑はれることは飽くまでも調べたくなるんだ』
斯う云つた松川は其の儘物置小屋を出て行つて了つた。
『牧野さん……』
お春は一寸衣紋を作つて。
『妙な御緣でしたね』
嬉しさうに寄り添つたお春が悶々しくも牧野の手を執らうとするから

まいますよ』
悧らしい言葉をかけたお春は、後へ心を殘して奧の方へ入つて行つた。
『困つたことになつた』
自動車置場の片隅で、運轉手の牧野は深い考へに沈んで居ると、
『アレーッ……』
不意にけたゝましい操子の悲鳴が奧の方から起つた、
『ヤッ……』忠義者の牧野は愕然として表へ飛出した。

京城の名物（京城南大門通三）
カフェータイガーのアイスクリーム

日報歌壇

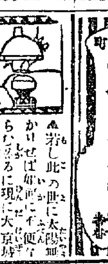
○
久にして野辺をゆけばつまさきにふるゝ小草のなつかしくもあるか　名無草
○
なんとなく人のこひしき春の夕柳の並木町歩みたりけり
踏鬮ばや『忘れじ』と云ひし君ゆゑにたよりのなかにつゝじのこと書く
五月はもことに夜のち灯の街なさまよふ人のうつくしきかな　白星光
○
朝風のさやかに渡り桃べのつゝじの花もうつろひにけり
思ひ出ばなべて悲しもうま酒の酌めどもつきぬ味はひに似つ
行く春のひと夜板戸を打つ雨の音かなしくも外の面は暗し　秋村
○
女ひそかに汲みあげにたる釣瓶水そこひにやどりし月ありにけり　砂丘
蛙啼く水田のほとりたゝづみて夜の笛の音をさゝほくきゝゐる
○
硝子戸にほゝ押つけて眺め入る若木の若芽日毎伸びゆく　夢歩
○
かなしみのなかにひたりてゐたるさき躑躅は面白く咲きゐたりけり　選者

新刊紹介

▼世界少年（六月號）　關斗遊び、小鳥の親友、絕島母兒網、降魔の使、父の國へ等あり（定價廿錢發行所東京市麴町區山元町一〇三新光社）
▼赤い鳥（六月號）　美しいお伽雜誌なり、主なるは鏡なしのたちさん、わての床屋、梟の相談、源氏の旗あげ等（定價十八錢發行所東京市日本橋區[illegible]町七赤い鳥社）
▼有効の活動（五月號）　[illegible]なる運動雜誌なり（定價廿五錢發行所東京市石川區大塚坂下町一四柔道會本部）
▼食物の發生（五月號）　百塚左官翁の御說にかゝる食養療法の機關誌なり、讀むべき記事多し（定價十五錢發行所牛込區市ケ谷仲町五一石塚食療所）
▲刀劍と歷史（五月號）　持田根與正の秀なる新刀に就て、三好下野入道傳、御傳來帝室御物等（定價廿五錢發行所東京府下々澁谷南豊島御料地羽澤文庫）
▲其〔一二〕（定價廿二錢發行所大阪市東區高麗橋通五の二八鶴西岡非倉）
▲人格と幸福（五月號）　定價九錢發行所京都市祇園萬壽小路明治修養會
▲極東時報（佛文號）（定價五十錢發行所東京市神田區錦町一の一〇共社）
▲水產界（四四〇）（定價廿五錢發行所東京市赤坂區溜池町一大日本水產會）
▼櫻桃の栽培（岡田東作著）　本書は專ら著者の經驗を基礎として記述されしもので櫻桃の起原、用途、性狀を始め栽培に適する氣候地勢、又た地勢氣候に適する品種等に就て極めて解り易く記述されたり、果樹栽培者及び農家の好指南車たるべし（定價五十錢發行所東京市赤坂區青山南町六の八三日本農業社）
▼新公論（五月號）　本號は卷頭の社說を始め田中萃一郎博士の長論文（政界に行はれつゝある二種の俗論）佛文豪ゾルモンの思想を論ぜし堀工剛氏の評論、講和會議、朝鮮問題等を中心に時局を警醒せし所說多し創作には吉田紘二郎氏の彼岸詣りと石橋丸平氏の長篇（死の傍らに）の二篇あり（定價卅錢發行所東京市京橋區加賀町一八共社）
▼ツーリスト（第三號）　和文欄には時事雜感、ホテル研究、伊豫の湯、歐洲風俗一斑等が收め英文欄には深山の櫻、能面物語、日本風俗、妙義山等あり（定價四十錢發行所東京鐵道院）

お惣菜

◇慈姑の田樂　慈姑の皮を剝いておろし毛飾を伏せた上に取り水氣を絞り、其中に山の薯のおろしたのを少し混ぜ、それを布巾の上に五六分の厚さにのばし、蒸籠に入れて七分間蒸し、柏木形に小さく切り、竹串二本を刺し兩面を燒き、煉味噌を塗り木の芽をあしらつて供す。煉味噌は白味噌を好く擂り裏漉し煎汁砂糖を加へて好く煉り上げ少し冷めてから玉子の黃味一個を加へて好く混ぜる。



▲若し此の世に太陽が無かりせば如何に不便なるからむかゝる所に現に大京城の市民にして殆んど之に等しき不便と苦痛を受けつゝある事實を如何せん畏くも御成年式當日は不夜城の觀を呈せしにも拘らず當市は[illegible]の故障とて暗黑の裡に過せり幸いにて[illegible]去る土曜、日曜の夜も亦送電停止にて[illegible]中樞[illegible]漸く[illegible]電燈會社の[illegible]不便あり[illegible]某氏等の意見も已に之を聽けり唯吾人は當局者が全力を擧げて之が修理に力め一刻も早く三十萬の市民に光明を供給し便利を與へ以て彼等をして速かに[illegible]
▲これから[illegible]是非御申上候[illegible]ろか（鳥目の人）
▲[illegible]町二丁目五ノ番地[illegible]社猫兄弟御注文により二匹あり毛色はベルベツトブラツクと白のブチに御座候目下乳離致し居り不申候（其一匹御入用に御出被下度候（猫好生）
▲京城の女流の虛榮に富めるに眼を引かれたが、吾が近邊に商店があるが、この奧樣の働き振りは近隣同町の眼を引く程、商圖振り身なりも構はず、孜々他を顧みず稼いで恥ぢざるもの皆感心して居ます。若輩の鳴も大いに模範とせよとさたして居ます（同町樵日生）
▲道廳より當局の試驗婆の募集が記してありました、此の試驗が受けたいと思つて居りますので如何なる手續で試驗が受けられるのでありませうか、紙上にて御教へ下さい御願ひ致します（大和町思案者）
▲朝鮮が有らば滿蒙に乘出し、骨を彼の地に埋る覺悟で二十有餘年住みなれた故鄕を離れて、此の地に來て居ります、未見の青年諸君よ御互に邦家の爲め努力しようではありませんか（工學者生）

京城本町
千代田印鋪
電話[illegible]

安全第一のかぜねつ特効藥
丹平商會發賣の『蛇印』
アンチピリン錠
特長　▲最新最高の貴藥の配合　▲絕對に副作用なし　▲胃中に溶解し易し。
主効　かぜねつ　はやりかぜ、頭痛　腰痛、リウマチス　オコリ其他熱ある一切に偉効あり
藥價　□十錠　□廿五錠　□五十錠
到る處の藥店に販賣す

コドモ（七歳以下）のかぜねつにはオイン
藥價十錢廿錢三十錢各藥店にあり

美人の煩悶
毛の無いのが原因
髮の毛が薄くて見苦しかつたり有るべき所に毛が無かつたりすると年頃の娘は自然憂鬱になつて嫁入り話も嫌がるは同情に堪へざる所なるが是迄のありふれた藥と違ひ最近に眞地に黑い毛の生ゆる人助けの奇藥が製せられ眉毛の薄く生え際惡く、禿頭、腫物の禿、薄毛、髯、揆毛、有るべき所に毛の無き男女は皆驗者以上の結果に喜びつゝあり、此奇藥は一婦人が吾身の上の恥かしさ悲しさに思ひを焦して遂に苦心創製し思ひ通りに毛が生えた實驗に基く者にて希望者は東京市京橋築地町美容堂こり子へ宛てハガキで問合はさるれば人助けの爲め自分の秘密を打明け封書で委しく通知する由

內科　小兒科　種痘毎日
京城明治町二丁目
女醫　川崎朋子
（電話長一五〇四番）

京日案內

▲蓄音機「レコード」中古品御讓り下さる人は本欄にて御知せを乞ふ　二川山根町　淺井マキヨ
▲古本雜誌高價買入　是非御試賣を乞ふ　電話三一九五番　▲本町二丁目　▲誠文堂

病氣歸國に付代書營業讓渡したし
電話及代書要具一切
南大門通三丁目（青木堂前）　森代書所

店員二名入用　年齡廿歲以下の者
京城本町三丁目　電一五六二　近藤金物店

鍼按灸開業　電話取次武四一四番
龍山藏道官舍十號　長崎及ビ東京盲學校卒業生　横枕五郎

恩給立替　恩給金は證書引換に御渡し致します地方は規定書送ます電話三〇〇番
京城府若草町郵便ポスト前入　西村商會

各道外務員招聘　經驗の有無不問御婦人も大歡迎　希望者履歷書送れ面會日通知す
京城府大和町一丁目四六　日本徵兵保險株式會社支部

外勤社員招聘　月給付優待す
商品月賦販賣　債券　報國公債朝鮮支部
京城若草町一〇六郵便ポスト前

內外勤社員採用
希望者は履歷書持參本社に來れ
京城黃金町一ノ八九電話九五三　帝國生命保險株式會社支店

日本土木建築測量設計製圖
[illegible]
京城工務所

[illegible]人事相談
[illegible]
坂本信託[illegible]

[illegible]債權取立[illegible]
[illegible]
[illegible]收社

京都產
金銀箔　金銀泥粉
黃銅箔　齒科用金箔　無地金唐紙　押紙
右各種製造販賣
京都市寺町御池南入　堀至善堂
電話上一五五九番　振替大阪六四番
大阪支店
大阪市西區[illegible]　電話西八八七番

法人登記公告
一、平澤金融組合登記事項中組合長金嶋植ハ大正八年四月試日任期滿了ニ付定時總會ニ於テ再選就任シ同日左記ノ者組合長ニ當選就任セリ
京畿道振威郡松炭面長安里四七七番地　尹鎬
右大正八年五月拾參日登記
京城地方法院平澤出張所

法人登記公告
華川金融組合變更
出資一口ノ金額參拾五口拂込ミタル出資ノ總額金參千貳百八拾八圓拾六錢ト變更ス
大正八年四月貳拾參日登記
京城地方法院華川出張所

法人登記公告
南陽金融組合登記事項中監事任期滿了ニ付大正八年五月九日定時總會ニ於テ朴潤榮洪貞杓洪承殷再選
右大正八年五月拾參日登記
京城地方法院水原支廳

法人登記公告
遂安金融組合變更事項
一、監事改選及所在地[illegible]
遂安郡遂安面龍頭里　李[illegible]
遂安郡遂安面[illegible]里　李[illegible]
遂安郡遂安面[illegible]　張[illegible]
遂安郡遂安面[illegible]　李[illegible]
右大正八年五月拾貳日登記
海州地方法院遂安出張所

名刺　中田普成社
京城長谷川町　電話二一〇五番　振替京城四七六二

味噌の横綱
ほまれ味噌

長春便 ◆錢鈔存廢問題
前會には極力存續說を持唱したる方面に於て幽勝する人々のみ多け[illegible]名にして直ちに解散手續をすると[illegible]後藤一派が假り三萬二千圓にて[illegible]減額、救濟方を申し込み商同社の金[illegible]共に商算事務に著手する事とせし[illegible]くも其間消算事務時日の延長は[illegible]費用の增加を見て成るべく平穩に[illegible]て金策の方法としては後藤が所有[illegible]不動產全部を投け出たるに對して[illegible]なきに非ざれば就ての際院寄役への供託株[illegible]託し置きし責任[illegible]の供託株は變權する事に決し商監[illegible]寄役兩名よりも責を分かつべしと[illegible]申し出であり[illegible]